

市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事

上田市都市建設部 建築課					
有限会社 設計工房風の色					
図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-14	屋根伏せ図	A-20	全体計画図
A-01	建築工事 特記仕様書 (1/6)	A-15	建具表	A-21	雨水排水計画図 (参考)
A-02	建築工事 特記仕様書 (2/6)	A-16	基礎伏図・基礎詳細図	A-22	工事ステップ図 (参考)
A-03	建築工事 特記仕様書 (3/6)	A-17	小屋伏図・軸組図・リスト		
A-04	建築工事 特記仕様書 (4/6)	A-18	軸組図・リスト	E-06	外構配線図
A-05	建築工事 特記仕様書 (5/6)	A-19	断面詳細図 (鉄骨架構詳細図)	E-07	外構電気設備詳細図
A-06	建築工事 特記仕様書 (6/6)				
A-07	構造関係 特記仕様書 (1/2)	E-01	電気設備工事 特記仕様書		
A-08	構造関係 特記仕様書 (2/2)	E-02	配置図		
A-09	付近見取り図・配置図	E-03	盤結線図・機器類参考図・凡例		
A-10	敷地求積図	E-04	電灯設備図		
A-11	平面図	E-05	コンセント設備図		
A-12	立面図				
A-13	断面図				

<h2 style="text-align: center;">市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事 特記仕様書</h2>						
1 工事概要						
1. 工事場所	上田市大手二丁目5489番地1					
2. 敷地面積(m ²)	1,105.63m ²					
3. 工事種目	新築工事					
建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(m ²)
車庫倉庫棟	新築	軽量鉄骨	1	7.2	8.64	189.49
基礎面積(m ²)	189.49					
2 建築工事仕様(構造関係を除く)						
1. 共通仕様						
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(最新年度版)(以下「仕様」という)による。 (2) 標準仕様書で、「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督職員と協議すること。 (3) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。						
2. 特記仕様						
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の(別)は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。 (5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。						

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図 ・ 敷地調査共通仕様書 ※ 工事写真の撮り方 建築編 ・ 公共建築改修工事標準仕様書 ・ 公共土木建築工事標準仕様書 ※ 建築工事監理指針 ・ 建築改修工事監理指針 ※ 建設工事公共災害防止対策要綱(建築工事編) ・ 長野県建設リサイクル推進指針 各基準等は最新年度版を使用する。
	② 工事実績情報の登録	※ 適用する ・ 適用しない
	③ 品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による ※ 風速 (V ₀ = 30) ※ 地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ※ 積雪区分 建告示第1455号 別表(27)
	④ 電気保安技術者	※ 適用する ・ 適用しない
	⑤ 施工条件明示項目	※ 現場説明書による
	⑥ 発生材の処理等	※ 横外搬出適正処理 ・ 別紙解体工事仕様書による また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 ・ 引渡しを要するもの ・ 再生資源の利用を図るもの
	⑦ 環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(6)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 (6) 建築材料等は、クロルビドスを成分として含有せず。施工においても添加しないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量がF☆☆☆☆のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもの、原則としてF☆☆☆☆のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 ■ 規 制 対 象 外 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 ■ 第三種 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の第3項による国土交通大臣認定品 ③ IBJISのEo規格品 ④ IBJASのFco規格品

⑧ 建築材料等	建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。(1.4.2) ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。なお、JIS及びJASの表示のない材料及び製造業者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。 なお、(一社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」に指定された材料については上記(1)～(6)に該当するものとする。 また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承認を受けた材料とする。
---------	---

⑨ 特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品所の指定する工法による。
------------	---------------------------------------

⑩ 技能士	◎ 適用する(一級技能士を採用している現場である旨の表示をすること。) ・ 適用しない ○ 以下の表による他監督職員の指示による
-------	---

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	・ とび作業
鉄筋工事	◎ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	◎ 型枠工事作業 ○ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	◎ 構造物鉄骨作業 ・ とび作業
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ コンクリートブロック工事作業 ・ エールシーパネル工事作業
防水工事	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニルシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート・防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
石工事	・ 石張り作業
タイル工事	・ タイル張り作業
木工工事	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	◎ 内外装板金作業 ・ かわらぶき
金属工事	・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外装板金作業
左官工事	◎ 左官作業
建具工事	・ 木製建具(手・機械)加工作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業
塗装工事	・ 建築塗装作業 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ 木質系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ 鋼製下地工事作業 ・ ボード仕上げ工事作業 ・ 壁装作業
内装工事	・ 建築配管作業
排水工事	・ 浴槽ペイントハンドマーカ-工事作業 ・ 加熱ペイントマシンマーカ-工事作業
舗装工事	・ 造園工事作業
植栽工事	・ 量製作 ・ 家具(手・機械)加工作業 ・ 樹脂接着剤注入工事作業 ・ カーテン工事作業

11. 化学物質の濃度測定	測定方法 ※ パップ法(拡散法) ・ アクティブ法(吸引法) 検査機関 ※ 環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者 測定物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン ※ パラジクロロベンゼン ※ スチレン 測定箇所(室) 計 個所					
※ 試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度測定値(厚労省指針)						
ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	パラジクロロベンゼン	スチレン	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm	

⑫ 完成図等	※ 作成する (1.7.1～1.7.3)(表1.7.1) ※ 完成図 (※ 設計図書で示したもの全て ・ 仕様表1.7.1による ○ 監督員の指示による) 作成方法 ※ 製本 (※ 見開きA3縮小版 3部(黒表紙金文字製本) ※ 見開きA1版 1部(ビニール製本) ※ CADデータ (※ CD-R 2部) ※ 保金に関する資料(2部)
--------	---

13. 完成写真	下記のものに監督職員に提出する。原画は撮影業者の保管とする。 分類・規格 撮影箇所数 部数 写真のサイズ(mm) ※ カラー写真(製本) 外部() 内部() ※ 1 ・ ※ キャビネット版 ・ サービス版 ・ パネル(木製枠) 外部() 内部() ※ 1 ・ ※ 240×360以上 ※ 電子データ 外部() 内部() ※ 2 ・ ※ 428万画素以上 ・ 800万画素以上 ※ 350dpi以上 電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8ビット(フルカラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者
----------	--

14. 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。
---------------	---

⑬ 設計GL	※ 図示 ・ 設計GL=現状GL ○ 監督員の指示による
--------	------------------------------

① 足場その他	足場を設ける場合、「標仕」2.2.4(2)によるほか、設置においては、「手すり先行方法による足場の組立て等に関する基準」における(2)「手すり設置方式」、又は(3)「手すり先行専用足場方式」により行うこと。
2. 監督員事務所	※ 設けない ・ 設ける 規模 ・ 10m ² 程度 ・ 20m ² 程度 ・ () m ² 程度
④ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない
④ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない

3 土工事	① 埋戻し及び盛土 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1)
	② 建設発生土の処理 ※ 横外搬出適正処理 (3.2.5) ・ 構内の造成に利用 ○ 構内の指定場所(たい積) ・ 構内の指定範囲に敷きならし
	3. 山留めの残置 存置範囲 (※ 図示 ・) (3.3.3)
4 地業工事 5 鉄筋工事 6 コンクリート工事 7 鉄骨工事	特記仕様書(構造関係)による

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1. 補強コンクリートブロック造 ブロックの種類 (8.2.2.5) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ(mm) モジュール呼び寸法(mm) 長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考 ※ 空洞ブロック-16 ・ 無 ・ 有 ・ 型枠状ブロック-20 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 有 各部の配筋 ※ 図示
---------------------------------	--

2. コンクリートブロック構造及び壁	ブロックの種類・適用 (8.3.2.3)(表8.3.1) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ(mm) モジュール呼び寸法(mm) 長さ 高さ 化粧の有無 (表8.3.1)以外の適用箇所 備考 ※ 空洞ブロック-08 ・ 無 ・ 有 ※ 空洞ブロック-16 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 有 ・ 無 ・ 有 各部の配筋 ※ 図示
--------------------	--

3. ALCパネル	(8.4.2～5) パネルの種類 厚さ(mm) 長さ(mm) 単位荷重(N/㎡) 耐火性能(時間) 表面加工 構造の種類 正荷重 負荷重 ・ 外壁パネル ・ 平 ・ 意匠 ・ A種 ・ 間仕切壁パネル ・ 平 ・ 意匠 ・ B種 ・ 平 ・ C種 ・ D種 ・ 意匠 ・ E種 ・ 床パネル 各パネル使用箇所 ※ 図示 外壁パネル構造 パネル幅の最小限度 ※ 300mm 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 外壁パネルの出隅及び人脚のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅(mm) ・ 20 ・ 図示 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ 適用しない
-----------	--

4. 押出成形セメント板	(8.5.2～5) パネルの種類 表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 工法の種類 備考 ・ 外壁パネル ・ F(フラットパネル) ・ 50・60 ・ 600 ・ A種 ・ D(デザインパネル) ・ 50・60 ・ B種 ・ T(タイルベースパネル) 60 ・ 間仕切壁パネル ・ F(フラットパネル) ・ 50・60 ・ B種 ・ D(デザインパネル) ・ 50・60 ・ C種 ・ T(タイルベースパネル) 60 外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない パネルの相互の目地幅 ※ 長辺8mm以上、短辺15mm以上 ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合部の目地幅(mm) ※ 15 ・ 図示 耐火構造以外の部分の目地及び隙間の処理 ※ パネル製造所の仕様による ・ 図示 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。 開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅 パネルに開口を 短辺 ・ ・ 図示 ・ ・ 図示 設ける場合 長辺 ・ ・ 図示 ・ ・ 図示 パネルを切り 短辺 ・ ・ 図示 ・ ・ 図示 欠く場合 長辺 ・ ・ 図示 ・ ・ 図示 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による
--------------	--

9 防水工事	1. アスファルト防水 (9.2.2～5)(表9.2.3～9) 屋根保護防水 防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3 ・ BI-1 ・ BI-2 ・ BI-3 (材質) ・ 断熱A ・ 断熱B (厚さ) ・ 25mm ・ 50mm ※ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ※ フラットヤーンクロス(70g/m ² 程度) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 仕様表9.2.5から仕様表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 仕様表9.2.3から仕様表9.2.8による
--------	--

■ 9章 防水工事内で適用する断熱材は以下の略号で表す。 断熱A: JIS A 9521 (建築用断熱材) による押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種BA (スキン層付き) 断熱B: JIS A 9511 (発泡プラスチック保温材) によるA種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種B (スキンあり) 断熱C: JIS A 9521による硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの 断熱D: JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの

アスファルト防水 (続き)	立上り部の乾式保護材 ・ 産業系パネル: 無石種の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したものの。 ・ 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものの。 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による 屋根露出防水 防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材 種類 塗料 使用量 高日射反射率 防水の適用 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ DI-1 (材質) ・ 断熱B ・ 断熱b ・ 製造所の指定による ・ 製造所の指定による ・ DI-2 (厚さ) ・ 25mm ・ 製造所の指定による 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンド回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示 屋根防水密着加工 種別 施工箇所 ・ E-1 ・ E-2 保護層 ・ 設ける(※ 図示 ・) ・ 設けない 立上りコンクリート打直し仕上げ ※ 仕様表6.2.4[打直し仕上げ種別]のB種 ・ 適用しない 押え金物の材質及び形状 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 ・ 図示 防水層の下地のモルタル塗里 ・ 適用する(施工範囲 ・ 図示 ・) 平場の保護コンクリートの厚さ くて仕上げ ※ 水下 80mm以上 ・ 図示 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 ・ 図示 屋根縁水溝 ※ 図示
---------------	--

2. 改質アスファルトシート防水	防水層の種類 (9.3.2.3)(表9.3.1～3) 種別 施工箇所 断熱材 防湿層 種類 塗料 使用量 高日射反射率 防水の適用 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J1 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J2 ・ AS1-T1 (材質) ・ 断熱B ・ 断熱b ・ 設ける(改質アスファルト製造所の仕様による) ・ 製造所の指定による ・ 製造所の指定による ・ AS1-J1 (厚さ) ・ 25mm ・ 製造所の仕様による ・ 設けない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 仕様表9.3.1から表9.3.3による ・ 図示 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 仕様表9.3.1から表9.3.3による ・ 図示 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 仕様表9.3.1から表9.3.3による ・ 図示 押え金物 ※ 改質アスファルト製造所の仕様による ・ 図示
------------------	---

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 (9.4.2～4)(表9.4.1～4) 種別 施工箇所 絶縁用シートの材質 断熱材 種類 塗料 使用量 高日射反射率 防水の適用 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3 ・ S1-F1 (材質) ・ 断熱B ・ 断熱b ・ 断熱C ・ 断熱c ・ 対象外 ・ 対象外 ・ 製造所の指定による ・ 製造所の指定による ・ S1-F2 (厚さ) ・ 25mm ・ 製造所の指定による ・ S1-M1 (材質) ・ 断熱B ・ 断熱b ・ 断熱C ・ 断熱c ・ 断熱D ・ 断熱d ・ 製造所の指定による ・ S1-M2 (厚さ) ・ 25mm ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 仕様表9.4.1から表9.4.3による ・ 図示 固定金具の材質及び寸法 ※ 9.4.2(3)(4)による ・ 図示 防水下地がPCコンクリート部材又はALCパネル下地の場合の処理 目地処理(S-VIの場合) ※ 図示 入隅部の増張り(S-F1, S1-F1, S-C1の場合) ※ 図示 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない 屋内保護密着工法の保護層 平場のモルタル塗里 工法 ・ 15.3.5(2)(4)及び(7)(床塗り)に準ずる ・ 15.3.5(4)(7)(下地モルタル塗里)に準ずる 保護コンクリート仕上げとする場合 厚さ くて仕上げ ※ 水下 80mm以上 ・ 図示 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 ・ 図示 立上り部の保護モルタル塗里 ※ 7mm以下 ・ 図示
----------------------	--

14. 自閉式吊り引戸装置 (16.10.3)

性能 ※ 仕様表 16.10.1 による
品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による

15. 重量シャッター (16.11.2.3)

シャッターの種類 耐風圧強度
・ 管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²
・ 屋内用防火シャッター
・ 屋内用防塵シャッター

開閉機能による種類 ※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式
管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※ Z12又はF12
品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による

16. 軽量シャッター (16.12.2~4)

開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
スラットの材質
○ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっき付着量 (※ Z06又はF06)
・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)
めっき付着量 (※ A290)
スラットの形状 ○ インターロック型形 ・ オーバーラッピング形
品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による

17. オーバーヘッドドア (16.13.2.3)

セクション材料による区分 耐風圧区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質

※ スチールタイプ ・ 125 ※ バランス式 ・ スタンダード形 ※ 溶融亜鉛
・ アルミニウムタイプ ・ 100 ※ ローヘッド形 ・ めっき鋼板
・ ファイバーグラスタイプ ・ 75 ・ チェーン式 ・ ハイリフト形 ・ ステンレス鋼板
・ 50 ・ 電動式 ・ パーチカル形

品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による

18. ガラス (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)

・ フロート板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示
・ すり板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示
・ 型板ガラス 厚さ(ミリ) ※ 図示
模様 ・ 梨地 ・ かすみ ・ その他 ()

○ 網入板ガラス、線入板ガラス

種類	品 種	網 種	厚さ(ミリ)
○ 網入板ガラス	・ 網入磨き板ガラス ○ 網入型板ガラス	○ かく網 ○ ひし網	※ 図示
・ 線入板ガラス	・ 線入磨き板ガラス ・ 線入型板ガラス		

・ 合わせガラス

品 種	構 成 種 類	性 能
・ フロート合わせガラス	・ フロート板合わせガラス ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス	・ I 類 ・ II-1 類 ・ II-2 類
・ 網入磨き合わせガラス	・ 網入磨き、フロート板合わせガラス ・ 網入磨き、熱線吸収合わせガラス	・ III 類

材料板ガラス厚さ、組合せ、合わせガラスの全体厚さ ※ 建具表に図示

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	厚さ(ミリ)	性 能
・ フロート強化ガラス	※ 図示	
・ 型板強化ガラス	※ 4	・ I 類 ・ III 類
・ 熱線反射強化ガラス	※ 図示	

・ 熱線吸収板ガラス

種 類	厚さ(ミリ)	性 能	色 調
・ 熱線吸収フロート板ガラス	※ 図示		
・ 熱線吸収磨き板ガラス			
・ 熱線吸収網入磨き板ガラス	※ 6.8	・ I 種 ・ 2 種	・ グリーン ・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ
・ 熱線吸収網入型板ガラス			

・ 複層ガラス

品 種	断 熱 性	日射熱遮へい性
・ 断熱複層ガラス	・ 1 種 ・ 2 種 ・ 3 種	U1 U2 U-3-1 ・ U-3-2
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ 4 種	E4
	・ 5 種	E5

材料板ガラスの厚さ、組合せ、複層ガラスの全体厚さ ※ 建具表に図示

・ 熱線反射ガラス

品 種	厚さ(ミリ)	日射熱遮へい性	耐 久 性
・ 熱線反射ガラス	※ 図示	・ 1 種	A 種
・ 高性能熱線反射ガラス		・ 2 種 ・ 3 種	・ A 種 ・ B 種 B 種

色調 ・ グレー ・ ブロンズ ・ シルバー ・ ブルー
反射被膜面 ・ 内面 ・ 外面
映像調整 ・ 行わない ・ 行う

・ 倍強度ガラス

名 称	材料板ガラスによる種類	厚さ(ミリ)	備 考
フロート倍強度ガラス	・ フロート板ガラス ・ 磨き板ガラス ・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 熱線吸収磨き倍板ガラス	※ 図示	
熱線反射倍強度ガラス	・ 熱線反射ガラス		

熱線吸収ガラスの色調 ・ グレー ・ ブロンズ ・ シルバー ・ ブルー

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	※ 仕様表16.14.11による ・ 図示
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	※ 仕様表16.14.11による ・ 図示
ステンレス製	・ シーリング材	※ 仕様表16.14.11による ・ 図示

品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による

19. ガラスブロック (16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整	耐火性能
・ 正方形	・ 125×125	80	クリア 乳白	平積み	目地	耐火性能
	・ 160×160	95		外側 ※ 15以下	※ 6m以下ごとに	※ 無し
	・ 200×200	125		※ 8~15	10~25	
	・ 250×250	150		内側 ※ 6以上		・ 有り
・ 長方形	・ 250×125	80				
	・ 320×160	95				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの種別法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける (形状 ※ 図示)
カ骨 材質 ※ ステンレス鋼(SUS304) ・ 図示
寸法 ※ 径5.5mm ・ 図示
形状 ※ はしご形状複筋及び単筋 ・ 図示
化粧目地モルタルの色 ()
シーリング材 ・ 仕様表9.7.1の接着体の組合せで適合するもの
金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製
寸法、形状 ※ 図示

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
目地のカ骨の補強方法
※ ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示

1. 取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式
・ 方立方式 ・ スパンドレル方式

性能		水密性		気密性		遮音性		断熱性		耐火性能		耐温度差性	
水平方向(H)	垂直方向(V)												
・ 1.0	・ 0.5									・ 30分	・ 60		
										・ 1時間	・ 70		
											・ 60		

耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない

主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)

支点間距離(h)	耐 風 圧 性 能	状 態
・ たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること		部材の脱落、ガラスの破壊及び主要部材に有害な歪みが生じないこと。
4m以下		
4mを超える		

層間変位従従性

建築物の種類	層間変位量(h=支点間距離)	変位後の状態
鉄骨造	・ ±(1/200)×h以上	部材の脱落、ガラスの破壊及び主要部材に有害な歪みが生じないこと。
鉄筋コンクリート造	・ ±(1/300)×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること。
鉄骨鉄筋コンクリート造		

シーリング材
下表以外は仕様表 9.7.1 による

被覆体の組合せ		シーリング材の種類	
記 号	主成分による区分		
金属	ガラス		
	石、タイル		
ガラス	ガラス		
カーテンウォール板間目地			

構造用ガスケット
・ 適用する (施工箇所 ・ 図示)
材質 ・ クロロブレン系 ・ EPDM系 ・ シリコーン系
形状 ・ H型 ・ Y型 ・ C型
寸法(mm) ガラス板厚 ()、支持枠の厚さ ()、ウェブの寸法 ()
・ 適用しない

断熱材
種類 () 厚さ(mm) ()
施工箇所 ・ 図示

耐火材料
施工 部 位 種 別 規 格 帯

性能の確認方法及び判定方法
※ 適切な資料を監督職員に提出し承諾を受ける

2. メタルカーテンウォール (17.2.2~5)

材 料	規 格 等	表 面 処 理	映像調整
・ アルミニウム材	※ 仕様16.2.3による ・ 図示	皮膚等の種類(仕様表14.2.1) ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 着色(・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) ・ 塗装仕上げ ・ 研磨仕上げ(HL)	・ 行う ・ 行わない
		製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 仕様表17.2.1~3による ガラス溝の寸法、形状 ※ 製造所の仕様による	

3. PCカーテンウォール (17.3.2~5)

カーテンウォールの材料 (17.3.2~5)

コンクリート ※ 仕様17.3.2(a)(i)~(v)による ・ 図示
鉄筋 ※ SD295A (・ D13 ・ D10) ・ 図示
補強鉄筋の径(mm) ※ 3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 図示
配筋 ※ 図示

先付け材料 ・ サツク枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上げ材 ・ 磁器質タイル ・ 石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石)
・ 図示

ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・ h = -1~+2, W1及びW2 = ±1
製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 仕様表17.3.1, 2による

18 塗装工事

1. 材料 (18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆
・ 防火材料 ※ 図示 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 :)

2. 素地ごしらえ (18.2.2~7)

下 地 面 等		種 別	
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種	※ B種
	透明塗料塗りの場合	※ A種	※ B種
鉄鋼面		・ A種	・ B種 ※ C種
亜鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種
モルタル面及びブラスター面		・ A種	・ B種
コンクリート面及びALCパネル面		・ A種	・ B種
コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A種	・ B種
セッコボード面及びその他ボード面	目地・継目処理工法	※ A種	・ B種
	目地・継目処理工法以外	・ A種	・ B種

3. 錆止め塗装 (18.3.2.3)

下 地 面 等		工 程 の 種 別		塗 料 の 種 別	
鉄鋼面	見え隠れ部分	※ A種	・ B種	・ A種	・ B種
	見え隠れ部分	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※ A種	・ B種	・ A種	・ B種 ・ C種
	鋼製建具以外	・ A種	・ B種	・ A種	・ B種 ・ C種

4. 塗装 (18.4.1~18.13.2)

塗 装		種 別	
・ 合成樹脂鋼合	木部屋外	※ A種	・ B種
	木部屋内	・ A種	・ B種
・ ペイント塗り (SOP)	鉄鋼面	・ A種	・ B種
	亜鉛めっき鋼面	仕様表18.4.3による	※ 1種 ・ 2種
・ クリヤラッカー塗り (QL)	鉄鋼面	・ A種	・ B種
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	・ A種	・ B種
	コンクリート面	仕様表18.7.1による	上塗り等級 () 級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	仕様表18.7.2による	上塗り等級 () 級
・ 耐酸性塗料塗り (DP)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A種	・ B種 ・ C種
	コンクリート面等	・ A種	・ B種
・ つや合成樹脂	屋外の木部	仕様表18.8.2による	-
・ エマルジョンペイント塗り (EP-G)	屋内の鉄鋼面	・ A種	・ B種
	屋内の木部	仕様表18.8.4による	-
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	鉄鋼面	・ A種	・ B種
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	・ A種	・ B種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	・ A種	・ B種
・ ラッカーエナメル塗り (LE)	鉄鋼面	・ A種	・ B種
・ オイルステイン塗り (OS)	鉄鋼面	仕様表18.13.1による	-
・ 木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	・ A種	・ B種

屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗料とする。

19 内装工事

1. 接着剤 (19.2.1)

ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆

2. ビニル床シート及び床タイル張り (19.2.2.3)

種類	JIS 記号	施工箇所	色 柄	特殊機能	厚さ(mm)
・ 発泡層のないもの	※ FS (複層ビニル床シート) ・ TS (単層ビニル床シート)	・ 図示	・ 無し ・ マーブル柄	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性	※ 2.0 ・ 図示
・ 発泡層のあるもの	・ HS (発泡複層ビニル床シート) ・ KS (クッションフロア)	・ 図示	・ 無し ・ 柄物	・ 帯電防止 ・ 耐薬品性	・ 図示

工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所 :)

・ ビニル床タイル

JIS記号	施工箇所	色 柄	寸 法	特殊機能	厚さ(mm)
・ IT (単層ビニル床タイル)	・ 図示	・ 無し	・ 300×300	・ 帯電防止	※ 2.0 ・ 2.5
・ FT (複層ビニル床タイル)	・ 図示	・ 柄物	・ 450×450	・ 防汚性	・ 3.0 ・ 図示
・ KT (コンポジションビニル床タイル)	・ 図示				
・ FDK (置き敷きビニル床タイル)	・ 図示	・ 無し	・ 450×450	・ 帯電防止	・ 4.0 ・ 4.5 ・ 5.0 ・ 5.5
・ FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)	・ 図示	・ 柄物	・ 500×500	・ 防汚性	・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0 ・ 図示

帯電防止床 性能 ・ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷ ~1×10¹⁰ Ω程度

視覚障害者用床タイル 種類、形状 ・ 図示
工法 特殊な床下地の工法 ・ 図示

3. ビニル幅木 (19.2.2)

材質 ・ 軟質 ・ 硬質
高さ(mm) ※ 60 ・ 75
厚さ(mm) ※ 1.5以上

4. ゴム床タイル (19.2.2)

色柄 ・ 図示
厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 ・ 9.0
寸法(mm) ・ 図示

5. カーベット敷き (19.3.3) (表 19.3.1)

種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備 考
・ A種	カット	・ ウィルトン カーベット	・ 無し	・ 適用する (人体帯電圧 3kV以下)	
・ B種	ルーフ	・ ダブルフェース カーベット	・ 柄物 (標準品)	・ 適用しない	
・ C種	カット、ルーフ併用	・ アキスミンスター カーベット			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種号 呼び厚さ 8mm
・ タフテッドカーベット (19.3.2.3)

バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	備 考
・ カットバイル	・ 5~7	※ 全面接着工法	・ 適用する (人体帯電圧 3kV以下)	
・ ルーフバイル	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない	
・ カット、ルーフ併用				

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種号 呼び厚さ 8mm
・ ニードルパンチカーベット
厚さ(mm) ※ 図示
帯電性 ・ 適用する(人体帯電圧 3kV以下) ・ 適用しない

バイル形状	種 別	施 工 箇 所	寸 法	総 厚 さ (mm)	備 考
※ ルーフバイル	※ 第一種 ・ 第二種	※ 図示	※ 500×500	※ 6.5 ・ 図示	
・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種	・ 図示	・ 500×500	・ 6.5 ・ 図示	
・ カット、ルーフ併用	・ 第一種 ・ 第二種	・ 図示	※ 500×500	※ 6.5 ・ 図示	

カーベットの敷き方 平 場 ※ 市松敷き ・ 模様流し
階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き
見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、形状等 ※ 図示)
・ 適用しない

6. 合成樹脂塗床 (19.4.2.3)

塗床材のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆

種 別	施 工 箇 所	工 法	仕 上 げ の 種 類
・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床	・ 図示		※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床	・ 図示	・ 薄膜流し層べ工法 ・ 厚膜流し層べ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
・ 薄膜型塗床材	・ 図示		※ 平滑仕上げ
・ アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)	・ 図示		工程 塗布量(kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・ 平滑 ・ 防汚 溶剤 ・ 水性系 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・ 標準色

7. フローリング張り (19.5.2~7) (表 19.5.2.4)

単層フローリング

種 類	工 法	樹 種	厚 さ (mm)	大 小 (mm)	仕 上 塗 装
・ フローリングボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ 図示	15	※ 板幅75 板長さ 500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品
	・ 釘留め工法 (直張り)	※ 図示	・ 12以上 ・ 図示	・ 図示	・ 塗装品 ・ 無塗装品
・ フローリングブロック1等	・ 接着工法	※ 図示	・ 図示	・ 図示	・ 塗装品 ・ 無塗装品
	・ 接着工法	※ 図示	・ 図示	・ 図示	・ 塗装品 ・ 無塗装品
・ モザイクパーケット1等	・ 接着工法	※ 図示	・ 図示	・ 図示	・ 塗装品 ・ 無塗装品

天然木化粧複合フローリング

工 法	樹 種	種 別	厚 さ (mm)	大 小 (mm)		防 湿 処 理	塗 装 仕 上 げ
・ 釘留め工法 (根太張り)	※ 図示	・ A種	※ 15以上	・ 75	※ 900以上	・ 適用する	・ 塗装品
			・ 図示	・ 90	・ 図示		
・ 釘留め工法 (直張り)	・ 図示	・ B種	※ 12以上	・ 図示	・ 図示	・ 適用しない	・ 無塗装品
			・ 図示	・ 図示			
・ 接着工法	※ 図示	・ C種	※ 12以上	※ 303	※ 1800以上	・ 適用しない	・ 無塗装品
			・ 図示	・ 図示	・ 図示		
・ 接着工法	※ 図示	・ 無し	※ 8以上	※ 75以上	※ 900以上	・ 適用しない	・ 無塗装品
			・ 図示	・ 図示	・ 図示		

間伐材等の適用 ・ あり ・ なし
フローリング、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放数量
※ 規制対象外
接着工法の場合の接着材 ※ 合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ()
※ ウレタン樹脂ワニス塗り (B種) ・ オイルステイン塗りの上、ワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・ 行わない

内装工事(続き)	8. 畳敷き	<p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床: KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)</p> <p>下地の種類 ・ 標尺 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。</p>	(19.6.2)(表 19.6.1)																																																																																																							
	9. せっこうボード その他のボード張り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>厚さ(mm)・規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 中質木毛セメント板</td> <td>MW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・ 30 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧けい酸カルシウム板</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・ 仕上げの種類 ・ U塗装 ・ シート張り ・ 化粧単板 ・ 一般塗装</td> </tr> <tr> <td>・ フレキシブル板</td> <td>F</td> <td>・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 軟質フレキシブル板</td> <td>NF</td> <td>・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 平板</td> <td>S</td> <td>・ 6 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・ 図示 ・) ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・ 図示 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>・ 25 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール吸音ボード32X</td> <td>GW-B</td> <td>・ 25 (ガラスクロス包) ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>・ 9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>・ シージングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃) ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 21 (不燃) ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>・ 9.5</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード (木目)</td> <td>GB-D</td> <td>・ 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様の (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃) ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 普通合板</td> <td></td> <td>表面の種類 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・ 図示 ・) 不透明塗料塗り (※ しな程度 ・ 図示 ・) 板面の品質 (・ 図示 ・) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理</td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板</td> <td></td> <td>樹種名 (・ 図示 ・) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) ・ 防虫処理 ・ 難燃処理</td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・ タイプ) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) ・ 防虫処理 ・ 難燃処理</td> </tr> <tr> <td>・ メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ ポリエステル樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ミディアム密度ファイバーボード</td> <td>MDF</td> <td>・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 単板張りパーティクルボード</td> <td></td> <td>・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧パーティクルボード</td> <td></td> <td>・ 単板オーバーレイ DV ・ フラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(難燃) ・ 12(難燃) ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ ハードボード(素地)</td> <td>HB</td> <td>・ 未研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RN ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RS</td> </tr> <tr> <td>・ ハードボード(化粧)</td> <td>IB</td> <td>・ 内装用 DI ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ インシュレーションボード</td> <td></td> <td>A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>せっこうボード等の下地は図示による。 遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ・ 適用しない</p> <p>合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 合板類の張付け ※ B種 ・ A種</p> <p>せっこうボードの目地工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目地工法の種類</th> <th>せっこうボードのエッジの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 縦目処理工法</td> <td>・ テーパーエッジ</td> </tr> <tr> <td>・ 突付け工法</td> <td>・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ</td> </tr> <tr> <td>・ 目隠し工法</td> <td>・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ</td> </tr> </tbody> </table>	種類	JIS 記号	厚さ(mm)・規格等	・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・	・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・	・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・	・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 図示 ・	・ 普通木片セメント板	NF	・ 30 ・ 図示 ・	・ けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・	・ 化粧けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・ 仕上げの種類 ・ U塗装 ・ シート張り ・ 化粧単板 ・ 一般塗装	・ フレキシブル板	F	・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・	・ 軟質フレキシブル板	NF	・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 図示 ・	・ 平板	S	・ 6 ・ 図示 ・	・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・ 図示 ・) ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・ 図示 ・)	・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25 ・ 図示 ・	・ グラスウール吸音ボード32X	GW-B	・ 25 (ガラスクロス包) ・ 図示 ・	・ せっこうボード	GB-R	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 図示 ・	・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	・ 9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)	・ シージングせっこうボード	GB-S	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃) ・ 図示 ・	・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 21 (不燃) ・ 図示 ・	・ せっこうラスボード	GB-L	・ 9.5	・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	・ 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様の (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り	・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃) ・ 図示 ・	・ 普通合板		表面の種類 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・ 図示 ・) 不透明塗料塗り (※ しな程度 ・ 図示 ・) 板面の品質 (・ 図示 ・) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理	・ 天然木化粧合板		樹種名 (・ 図示 ・) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) ・ 防虫処理 ・ 難燃処理	・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・ タイプ) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) ・ 防虫処理 ・ 難燃処理	・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)	・ ポリエステル樹脂化粧板			・ ミディアム密度ファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 図示 ・	・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・	・ 化粧パーティクルボード		・ 単板オーバーレイ DV ・ フラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(難燃) ・ 12(難燃) ・ 図示 ・	・ ハードボード(素地)	HB	・ 未研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RN ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RS	・ ハードボード(化粧)	IB	・ 内装用 DI ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ 図示 ・	・ インシュレーションボード		A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・	目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類	・ 縦目処理工法	・ テーパーエッジ	・ 突付け工法	・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ	・ 目隠し工法	・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ
種類	JIS 記号	厚さ(mm)・規格等																																																																																																								
・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 普通木片セメント板	NF	・ 30 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 化粧けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉) ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・ 仕上げの種類 ・ U塗装 ・ シート張り ・ 化粧単板 ・ 一般塗装																																																																																																								
・ フレキシブル板	F	・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 8 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 軟質フレキシブル板	NF	・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 平板	S	・ 6 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・ 図示 ・) ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・ 図示 ・)																																																																																																								
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ グラスウール吸音ボード32X	GW-B	・ 25 (ガラスクロス包) ・ 図示 ・																																																																																																								
・ せっこうボード	GB-R	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	・ 9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)																																																																																																								
・ シージングせっこうボード	GB-S	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃) ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 21 (不燃) ・ 図示 ・																																																																																																								
・ せっこうラスボード	GB-L	・ 9.5																																																																																																								
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	・ 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様の (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り																																																																																																								
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃) ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 普通合板		表面の種類 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・ 図示 ・) 不透明塗料塗り (※ しな程度 ・ 図示 ・) 板面の品質 (・ 図示 ・) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理 ・ 難燃処理																																																																																																								
・ 天然木化粧合板		樹種名 (・ 図示 ・) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) ・ 防虫処理 ・ 難燃処理																																																																																																								
・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・ タイプ) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ(mm) (・ 図示 ・) ・ 防虫処理 ・ 難燃処理																																																																																																								
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)																																																																																																								
・ ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																										
・ ミディアム密度ファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ 化粧パーティクルボード		・ 単板オーバーレイ DV ・ フラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10(難燃) ・ 12(難燃) ・ 図示 ・																																																																																																								
・ ハードボード(素地)	HB	・ 未研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RN ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) RS																																																																																																								
・ ハードボード(化粧)	IB	・ 内装用 DI ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ 図示 ・																																																																																																								
・ インシュレーションボード		A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 図示 ・																																																																																																								
目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類																																																																																																									
・ 縦目処理工法	・ テーパーエッジ																																																																																																									
・ 突付け工法	・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ																																																																																																									
・ 目隠し工法	・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ																																																																																																									

10. 壁紙張り	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ (19.8.2, 2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火種別</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>塩化ビニル樹脂</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種 コンクリート・ALC面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※ B種 ・ A種</p>	施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考	紙	繊維	塩化ビニル樹脂	プラスチック	無機質	その他		・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃			・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃			・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃		(19.8.2, 2)																										
施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考																																																											
	紙	繊維	塩化ビニル樹脂	プラスチック	無機質			その他																																																										
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃																																																												
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃																																																												
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃																																																												
11. 断熱材	<p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ウリア樹脂又はメラミン樹脂を (19.9.2, 3) 使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>JIS</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)</td> <td>・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">9521</td> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・ 図示 ・) ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・ 図示 ・)</td> <td>・ 25 (保溫板(2種b)) ・ 25 ・ 25 (保溫板(3種b))</td> <td>・ 25 ・ 25</td> <td>・ 接合部分</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">9511</td> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種1 ・ B種1 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ 図示 ・ 断熱有 (トラバーチン模様) 施工箇所 ・ 図示 ・ 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	JIS	種類	厚さ(mm)	施工箇所	A	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・ 接合部分	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)	・ 25	・ 接合部分	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	9521	・ フェノールフォーム断熱材	・	・	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・	・	・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・ 図示 ・) ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・ 図示 ・)	・ 25 (保溫板(2種b)) ・ 25 ・ 25 (保溫板(3種b))	・ 25 ・ 25	・ 接合部分	A	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	・ フェノールフォーム断熱材	・	・	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・	・	9511	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	・ フェノールフォーム断熱材	・	・	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・	・	(19.9.2, 3)																			
JIS	種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																															
A	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 25	・ 接合部分																																																															
	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)	・ 25	・ 接合部分																																																															
	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・																																																															
9521	・ フェノールフォーム断熱材	・	・																																																															
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・	・																																																															
	・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・ 図示 ・) ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・ 図示 ・)	・ 25 (保溫板(2種b)) ・ 25 ・ 25 (保溫板(3種b))	・ 25 ・ 25	・ 接合部分																																																														
A	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・																																																															
	・ フェノールフォーム断熱材	・	・																																																															
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・	・																																																															
9511	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・																																																															
	・ フェノールフォーム断熱材	・	・																																																															
	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・	・																																																															
20 ユニットの及びその他の工事	<p>1. フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重(N)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・</td> <td>・ 置床式構法</td> <td>・ 500×500</td> <td>・</td> <td>・ 1.0G</td> <td>・ 3000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 置床式パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 0.6G</td> <td>・ 5000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 支柱調整式パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・</td> <td>・ 置床式構法</td> <td>・ 500×500</td> <td>・</td> <td>・ 1.0G</td> <td>・ 3000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 置床式パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 0.6G</td> <td>・ 5000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 支柱調整式パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・</td> <td>・ 置床式構法</td> <td>・ 500×500</td> <td>・</td> <td>・ 1.0G</td> <td>・ 6000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 置床式パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 0.6G</td> <td>・ 5000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 支柱調整式パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度 ※ 標尺20.2.2(2)(イ)～(ロ)による 厚さ ±0.5mm 平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下 中心と各頂点を結ぶ線上部 2mm以下</p> <p>表面仕上げ材 材質 ・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット 品質・性能 ※ 標尺19章による</p> <p>構成材の材質 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製(表面仕上げ:) ・ プラスチック製</p> <p>スロープ及びボーダー ・ 製造所の仕様による ・ 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・ 20～30パーセント ・ 図示 配線用取り出し開口 ・ パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ・ 図示 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・ なし ・ あり(形式、施工箇所: 図示) 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	備考	・	・ 置床式構法	・ 500×500	・	・ 1.0G	・ 3000		・ 置床式パネル構法	・	・	・ 0.6G	・ 5000		・ 支柱調整式パネル構法	・	・	・	・		・	・ 置床式構法	・ 500×500	・	・ 1.0G	・ 3000		・ 置床式パネル構法	・	・	・ 0.6G	・ 5000		・ 支柱調整式パネル構法	・	・	・	・		・	・ 置床式構法	・ 500×500	・	・ 1.0G	・ 6000		・ 置床式パネル構法	・	・	・ 0.6G	・ 5000		・ 支柱調整式パネル構法	・	・	・	・		(20.2.2)
施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	備考																																																												
・	・ 置床式構法	・ 500×500	・	・ 1.0G	・ 3000																																																													
	・ 置床式パネル構法	・	・	・ 0.6G	・ 5000																																																													
	・ 支柱調整式パネル構法	・	・	・	・																																																													
・	・ 置床式構法	・ 500×500	・	・ 1.0G	・ 3000																																																													
	・ 置床式パネル構法	・	・	・ 0.6G	・ 5000																																																													
	・ 支柱調整式パネル構法	・	・	・	・																																																													
・	・ 置床式構法	・ 500×500	・	・ 1.0G	・ 6000																																																													
	・ 置床式パネル構法	・	・	・ 0.6G	・ 5000																																																													
	・ 支柱調整式パネル構法	・	・	・	・																																																													
2. 可動間仕切	<p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 (20.2.3) ※ JIS等で放散量が規定されているものについては、F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">構成基材の種類</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">材質</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>パネル表面</th> <th>仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ スタッド式 (内蔵)</td> <td rowspan="2">・ スタッド</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・ 不燃</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ スタッド式 (露出)</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・ 難燃3</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ パネル式</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・ 難燃2</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ スタッドパネル式</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">・ 難燃1</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・ あり (※ 図示) ・ なし 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質・性能は標尺19章による 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	材質	表面仕上げ材		遮音性 (db/500Hz)	防火性能	パネル表面	仕上げ	・ スタッド式 (内蔵)	・ スタッド	・	・	・	・	・	・ 不燃	・	・	・ スタッド式 (露出)	・	・	・	・	・	・	・ 難燃3	・	・	・ パネル式	・	・	・	・	・	・	・ 難燃2	・	・	・ スタッドパネル式	・	・	・	・	・	・	・ 難燃1	・	・	(20.2.3)														
構造形式	構成基材の種類					総厚さ(mm)	材質			表面仕上げ材										遮音性 (db/500Hz)	防火性能																																													
		パネル表面	仕上げ																																																															
・ スタッド式 (内蔵)	・ スタッド	・	・	・	・	・	・ 不燃																																																											
								・	・																																																									
・ スタッド式 (露出)	・	・	・	・	・	・	・ 難燃3																																																											
								・	・																																																									
・ パネル式	・	・	・	・	・	・	・ 難燃2																																																											
								・	・																																																									
・ スタッドパネル式	・	・	・	・	・	・	・ 難燃1																																																											
								・	・																																																									
3. 移動間仕切	<p>(20.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">操作方法</th> <th rowspan="2">圧接装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 平行方向 移動式</td> <td rowspan="3">・ 手動式 ・ 電動式</td> <td rowspan="3">・ プッシュ式 ・ ハンドル式</td> <td rowspan="3">・ 図示</td> <td rowspan="3">・ 鋼板</td> <td rowspan="3">・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り</td> <td rowspan="3">・ 36未満 ・ 36以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 2方向 移動式</td> <td rowspan="3">・ 手動式 ・ 電動式</td> <td rowspan="3">・ プッシュ式 ・ ハンドル式</td> <td rowspan="3">・ 図示</td> <td rowspan="3">・ 鋼板</td> <td rowspan="3">・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り</td> <td rowspan="3">・ 36未満 ・ 36以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質・性能は標尺19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガレールの取付け下地の補強 ※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に對し、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・ 図示 あと施工アンカーを使用する際の材質・寸法等 ・ 図示 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上げ材		遮音性 (db/500Hz)	材質	パネル表面仕上げ	・ 平行方向 移動式	・ 手動式 ・ 電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式	・ 図示	・ 鋼板	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上	・	・	・	・	・ 2方向 移動式	・ 手動式 ・ 電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式	・ 図示	・ 鋼板	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上	・	・	・	・	(20.2.4)																																	
構造形式	操作方法					圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)		表面仕上げ材									遮音性 (db/500Hz)																																																
		材質	パネル表面仕上げ																																																															
・ 平行方向 移動式	・ 手動式 ・ 電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式	・ 図示	・ 鋼板	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上																																																												
							・	・																																																										
							・	・																																																										
・ 2方向 移動式	・ 手動式 ・ 電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式	・ 図示	・ 鋼板	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上																																																												
							・	・																																																										
							・	・																																																										
4. トイレブース	<p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 (20.2.5) ※ JIS等で放散量が規定されているものについては、F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の種類</th> <th rowspan="2">脚部形状</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ 図示</td> <td rowspan="2">※ 幅木タイプ ・ 図示</td> <td>・ 標準</td> <td>・ アルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>・ R</td> <td>・ ステンレス製</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>・</td> <td>・ 表面材と同材</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	表面材の種類	脚部形状	ドアエッジ		形状	材質	・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ 図示	※ 幅木タイプ ・ 図示	・ 標準	・ アルミニウム製	・ R	・ ステンレス製			・	・ 表面材と同材	(20.2.5)																																																
表面材の種類	脚部形状			ドアエッジ																																																														
		形状	材質																																																															
・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ 図示	※ 幅木タイプ ・ 図示	・ 標準	・ アルミニウム製																																																															
		・ R	・ ステンレス製																																																															
		・	・ 表面材と同材																																																															

5. 階段滑り止め	<p>(20.2.6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>幅(mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ステンレス (タイヤ入り) ・ 貴銅 (タイヤ入り) ・ 貴銅 (タイヤなし) ・ アルミニウム (タイヤ入り)</td> <td>・ 約35</td> <td>※ 接着工法 ・ 埋込み工法</td> <td>・ あり ・ ステンレス製 ・ なし</td> </tr> </tbody> </table>	材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ ステンレス (タイヤ入り) ・ 貴銅 (タイヤ入り) ・ 貴銅 (タイヤなし) ・ アルミニウム (タイヤ入り)	・ 約35	※ 接着工法 ・ 埋込み工法	・ あり ・ ステンレス製 ・ なし	(20.2.6)																																		
材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド																																									
・ ステンレス (タイヤ入り) ・ 貴銅 (タイヤ入り) ・ 貴銅 (タイヤなし) ・ アルミニウム (タイヤ入り)	・ 約35	※ 接着工法 ・ 埋込み工法	・ あり ・ ステンレス製 ・ なし																																									
6. 黒板及びホワイトボード	<p>(20.2.8)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色彩</th> <th>形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 黒板</td> <td>※ 焼付け ・ 研出し</td> <td>※ 緑 ・ 黒</td> <td>・ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分</td> </tr> <tr> <td>・ ホワイトボード</td> <td>ほうろう</td> <td>白</td> <td>・ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分</td> </tr> </tbody> </table>	種類	寸法(mm)	色彩	形式	・ 黒板	※ 焼付け ・ 研出し	※ 緑 ・ 黒	・ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分	・ ホワイトボード	ほうろう	白	・ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分	(20.2.8)																														
種類	寸法(mm)	色彩	形式																																									
・ 黒板	※ 焼付け ・ 研出し	※ 緑 ・ 黒	・ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分																																									
・ ホワイトボード	ほうろう	白	・ 平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分																																									
7. 鏡	<p>(20.2.9)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取付箇所</th> <th>図示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>厚さ(mm)</td> <td>※ 5 ・ 図示</td> </tr> </tbody> </table>	取付箇所	図示	寸法(mm)	・ 図示	厚さ(mm)	※ 5 ・ 図示	(20.2.9)																																				
取付箇所	図示																																											
寸法(mm)	・ 図示																																											
厚さ(mm)	※ 5 ・ 図示																																											
8. 表示	<p>(20.2.10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>取付高さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 衝突防止表示 (・ 両面 ・ 片面)</td> <td>・ ステンレス製 ・ 図示</td> <td>・ 30φ ・ 図示</td> <td>・ 市販品 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 室名札</td> <td>・ アクリル板 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 5 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ピクトグラフ</td> <td>・ アクリル板 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 5 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ とびら番号</td> <td>・ アクリル板 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 5 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 館内案内板</td> <td>・ アクリル板 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 5 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 各階案内板</td> <td>・ アクリル板 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 5 ・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。 案内用記号はJIS Z 8210による。 非常用進入口等の表示の材質、寸法等 ・ 図示</p>	区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考	・ 衝突防止表示 (・ 両面 ・ 片面)	・ ステンレス製 ・ 図示	・ 30φ ・ 図示	・ 市販品 ・ 図示	・ 図示		・ 室名札	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示		・ ピクトグラフ	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示		・ とびら番号	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示		・ 館内案内板	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示		・ 各階案内板	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示		(20.2.10)
区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考																																							
・ 衝突防止表示 (・ 両面 ・ 片面)	・ ステンレス製 ・ 図示	・ 30φ ・ 図示	・ 市販品 ・ 図示	・ 図示																																								
・ 室名札	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示																																								
・ ピクトグラフ	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示																																								
・ とびら番号	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示																																								
・ 館内案内板	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示																																								
・ 各階案内板	・ アクリル板 ・ 図示	・ 図示	・ 5 ・ 図示	・ 図示																																								
9. 煙突ライニング	<p>(20.2.11)</p> <p>煙突成形ライニング材 材質 ・ ソノライト系けい酸カルシウムライニング材 ・ 心材付き繊維層ライニング材 安全使用温度 ・ 400℃ ・ 650℃ 品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	(20.2.11)																																										
10. ブラインド	<p>(20.2.12)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>ボックスの種類</th> <th>寸法・取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ 横型</td> <td rowspan="2">・ 手動 ・ 電動</td> <td>※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※ アルミニウム 合金製 ・ 鋼製</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 縦型</td> <td>※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>アルミニウム 合金製</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルミスラットは焼付塗装仕上げとする。 クロススラットは消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工とする。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスの種類	寸法・取付箇所	・ 横型	・ 手動 ・ 電動	※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製 ・ 鋼製	※ 25	※ 鋼製	・ 図示	・ 縦型	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	・ 図示	(20.2.12)																						
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスの種類	寸法・取付箇所																																						
・ 横型	・ 手動 ・ 電動	※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミニウム 合金製 ・ 鋼製	※ 25	※ 鋼製	・ 図示																																						
		・ 縦型	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム 合金製	・ 図示																																					
11. ロールスクリーン	<p>(20.2.13)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>スクリーン材質</th> <th>操作方式</th> <th>透光性</th> <th>寸法(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ガラス繊維製 ・ 合成樹脂製 ・ 木製</td> <td>・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式</td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンの材質は防火性能の表示のあるものとする。 巻取りパイプ、グレットバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ・ 製造所の仕様による</p>	スクリーン材質	操作方式	透光性	寸法(mm)	取付箇所	備考	・ ガラス繊維製 ・ 合成樹脂製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 図示	・ 図示		(20.2.13)																														
スクリーン材質	操作方式	透光性	寸法(mm)	取付箇所	備考																																							
・ ガラス繊維製 ・ 合成樹脂製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 図示	・ 図示																																								
12. カーテン	<p>(20.2.14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別・品質・特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ シングル ・ ダブル</td> <td rowspan="2">・ 片引き ・ 引分け</td> <td>・ 手引き</td> <td>・ フランスひだ</td> <td rowspan="2">・ 図示</td> <td rowspan="2">・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ ひも引き ・ 電動</td> <td>・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シングル ・ ダブル</td> <td rowspan="2">・ 片引き ・ 引分け</td> <td>・ 手引き</td> <td>・ フランスひだ</td> <td rowspan="2">・ 図示</td> <td rowspan="2">・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ ひも引き ・ 電動</td> <td>・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ</td> </tr> </tbody> </table> <p>カーテンのきれ地は防火性能の表示のあるものとする。 難燃カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別・品質・特殊加工等	取付箇所	備考	・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き	・ フランスひだ	・ 図示	・ 図示	・ ひも引き ・ 電動	・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き	・ フランスひだ	・ 図示	・ 図示	・ ひも引き ・ 電動	・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ	(20.2.14)																				
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別・品質・特殊加工等	取付箇所	備考																																							
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き	・ フランスひだ	・ 図示	・ 図示																																							
		・ ひも引き ・ 電動	・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ																																									
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き	・ フランスひだ	・ 図示	・ 図示																																							
		・ ひも引き ・ 電動	・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ																																									
13. カーテンレール	<p>(20.2.14)</p> <p>強さによる区分 ※ 10-90 ・ 10-60 材質 ・ アルミニウム製及びアルミニウム合金製 ・ ステンレス製 仕上げ ※ アルマイト 形状 ※ 角形 ・ C形 ・ D形 ・ I形 ・ H形</p>	(20.2.14)																																										
14. プレキャストコンクリート	<p>(20.3.3~4)</p> <p>補強鉄線の径 ※ 3.2mm以上 コンクリートの設計基準強度及び引張量 ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する割合強度 ・ 図示 配筋 ※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・ 図示 取付け方法 ※ 図示</p>	(20.3.3~4)																																										

15. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み	<p>(20.4.2~3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 間知石</td> <td>・ 花こう岩 ・ 凝灰岩</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート間知ブロック</td> <td>-</td> <td>・ A ・ B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積み方 ※ 谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示 ・ 伸縮目地 伸縮調整目地 材質 ・ 図示 厚さ ・ 図示</p>	材種	種類	質量区分	備考	・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	-		・ コンクリート間知ブロック	-	・ A ・ B		(20.4.2~3)																					
材種	種類	質量区分	備考																																
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	-																																	
・ コンクリート間知ブロック	-	・ A ・ B																																	
16. 視覚障害者用床タイル	<p>(11.2.2)(20.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・ 塩化ビニル製</td> <td>・ 300×300</td> <td>・ 7.0</td> </tr> <tr> <td>・ 磁器質タイル ・ セット磁質タイル ・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製</td> <td>・ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 磁器質タイル ・ セット磁質タイル ・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製</td> <td>・ 300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製</td> <td>・ 300×300</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>ブロックパターンは JIS T 9251 による。</p>	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	屋内	・ 塩化ビニル製	・ 300×300	・ 7.0	・ 磁器質タイル ・ セット磁質タイル ・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製	・ 300×300	・	・ 磁器質タイル ・ セット磁質タイル ・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製	・ 300×300	・	屋外	・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製	・ 300×300	・	(11.2.2)(20.2.2)															
施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)																																
屋内	・ 塩化ビニル製	・ 300×300	・ 7.0																																
	・ 磁器質タイル ・ セット磁質タイル ・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製	・ 300×300	・																																
	・ 磁器質タイル ・ セット磁質タイル ・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製	・ 300×300	・																																
屋外	・ レンコンクリート製 ・ コンクリート製	・ 300×300	・																																
17. 手すり	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 集成材</td> <td>・ クリアラッカー</td> <td>・ 35 ・ 45</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレスパイプ</td> <td>・ HL</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製パイプ</td> <td>・ EP-G ・ SOP</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ ビニル製ハンドレール</td> <td>・</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table>	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45	・ 図示	・ ステンレスパイプ	・ HL	・ 図示	・ 図示	・ 鋼製パイプ	・ EP-G ・ SOP	・ 図示	・ 図示	・ ビニル製ハンドレール	・	・ 図示	・ 図示														
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																																
・ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35 ・ 45	・ 図示																																
・ ステンレスパイプ	・ HL	・ 図示	・ 図示																																
・ 鋼製パイプ	・ EP-G ・ SOP	・ 図示	・ 図示																																
・ ビニル製ハンドレール	・	・ 図示	・ 図示																																
18. ブラインドボックス及びカーテンボックス	<p>溝型×深さ(mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材質 ・ 集成材 (仕上げ: 図示) ・ アルミニウム製 押出し型材(市販品) 表面処理 ・ C-1 ・ C-2 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) ・ 図示</p> <p>床壁等の種類 ※ 標尺表14.1.2による ・ 鋼製(仕上げ: 図示)</p>																																		
19. 天井点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>・ 450×450 ・ 600×600</td> <td>・ 一般形 ・ 気密形</td> <td>・ 屋内外用 ・ 屋内用</td> <td>・ 隠線タイプ ・ 目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	※ アルミニウム製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 気密形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 隠線タイプ ・ 目地タイプ																								
材種	寸法	形式	外枠	内枠																															
※ アルミニウム製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 気密形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 隠線タイプ ・ 目地タイプ																															
20. 床点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製</td> <td>・ 450×450 ・ 600×600</td> <td>・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 隠線防止形</td> <td>・ 屋内外用 ・ 屋内用 ・ 鍵付き</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能及び試験方法 ※ 建築材料等品質性能表による</p>	材種	寸法	形式	備考	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 隠線防止形	・ 屋内外用 ・ 屋内用 ・ 鍵付き																										
材種	寸法	形式	備考																																
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 密閉形 ・ 隠線防止形	・ 屋内外用 ・ 屋内用 ・ 鍵付き																																
21. 耐震スリット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 垂直方向 ・ 水平方向</td> <td>※ 完全(全貫通型)</td> <td>・ 耐火型 ・ 非耐火型</td> <td>・ 無し</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目地材</td> <td>・ シーリング材(見え掛かりのみ)</td> <td>・ シーリング材(見え掛かりのみ)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法(幅×深さ)</td> <td>・ 20×10</td> <td>・ シーリング材(内外とも) ・ 20×10</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地材の材質は標尺表9.7.2による。</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・ 垂直方向 ・ 水平方向	※ 完全(全貫通型)	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 無し		目地	内壁	外壁	目地材	・ シーリング材(見え掛かりのみ)	・ シーリング材(見え掛かりのみ)	目地寸法(幅×深さ)	・ 20×10	・ シーリング材(内外とも) ・ 20×10															
方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																															
・ 垂直方向 ・ 水平方向	※ 完全(全貫通型)	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 無し																																
目地	内壁	外壁																																	
目地材	・ シーリング材(見え掛かりのみ)	・ シーリング材(見え掛かりのみ)																																	
目地寸法(幅×深さ)	・ 20×10	・ シーリング材(内外とも) ・ 20×10																																	
22. 止水板	<p>形状 ・ 差込式 ・ 挿入式 ・ 壁張り式 施工箇所 ・ 図示</p>																																		
23. エキスパンション・ジョイント金物	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>クリアランス</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アルミニウム製 ・ ステンレス製</td> <td>・ 50 ・ 100 ・ 有り () ・ 無し</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>外部は防水型とする。</p>	材種	クリアランス	耐火性能	備考	・ アルミニウム製 ・ ステンレス製	・ 50 ・ 100 ・ 有り () ・ 無し																												
材種	クリアランス	耐火性能	備考																																
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製	・ 50 ・ 100 ・ 有り () ・ 無し																																		
24. くつまきマット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 複質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・ ステンレス鋼(SUS304) ・ 複質アルミニウム合金 ・ 天板ステンレス製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材種	受け枠	備考	・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 複質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼(SUS304)製	・ ステンレス鋼(SUS304) ・ 複質アルミニウム合金 ・ 天板ステンレス製																													
材種	受け枠	備考																																	
・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 複質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼(SUS304)製	・ ステンレス鋼(SUS304) ・ 複質アルミニウム合金 ・ 天板ステンレス製																																		
25. 流し台ユニット	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法(mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 流し台</td> <td>・ 1200</td> <td>・ 550</td> <td>・ 800</td> <td>市販品 トラップ付き</td> </tr> <tr> <td>・ 1500</td> <td>・ 600</td> <td>・ 850</td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・ 1800</td> <td>・ 650</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ コンロ台</td> <td>・ 600</td> <td>・ 550</td> <td>・ 620</td> <td>市販品 バックガード有り</td> </tr> <tr> <td>・ 600</td> <td>・ 600</td> <td>・ 670</td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・ 650</td> <td>・ 650</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> </tr></tbody></table>	材種	寸法(mm)			備考	W	D	H	・ 流し台	・ 1200	・ 550	・ 800	市販品 トラップ付き	・ 1500	・ 600	・ 850	天板ステンレス製	・ 1800	・ 650	・		・ コンロ台	・ 600	・ 550	・ 620	市販品 バックガード有り	・ 600	・ 600	・ 670	天板ステンレス製	・ 650	・ 650	・	
材種	寸法(mm)			備考																															
	W	D	H																																
・ 流し台	・ 1200	・ 550	・ 800	市販品 トラップ付き																															
	・ 1500	・ 600	・ 850	天板ステンレス製																															
	・ 1800	・ 650	・																																
・ コンロ台	・ 600	・ 550	・ 620	市販品 バックガード有り																															
	・ 600	・ 600	・ 670	天板ステンレス製																															
	・ 650	・ 650	・																																

28. 車止め支柱
29. フェンス
30. 鋼製書架及び物品棚
31. 屋根掲示板
32. 洗面カウンター
33. 防煙垂れ壁
34. 屋根掲示板
35. 収納家具
21. 共通事項
22. 排水工事
23. 屋外雨水排水
24. 鉄製ふた
25. グレーティング

5. 街きよ、縁石、側溝
22. 舗装工事
2. 路盤
3. アスファルト舗装
4. コンクリート舗装
5. カラー舗装

6. 透水性
7. ブロック舗装
23. 植栽及び屋上緑化工事
1. 植栽地の確認等
2. 植栽基盤の整備
3. 植込み用土
4. 土壌改良材
5. 樹木
6. 支柱
7. 幹巻き用材料
8. 芝
9. 吹付けは種
10. 地被類
11. 新植・移植樹木・芝等の枯保証

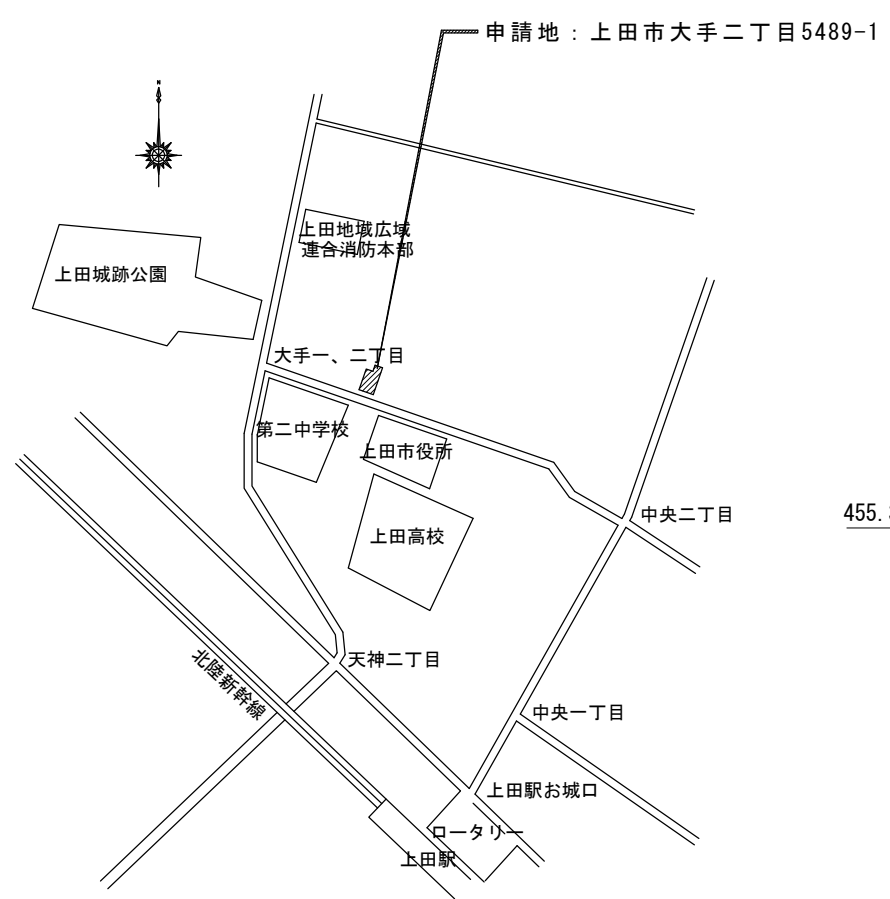
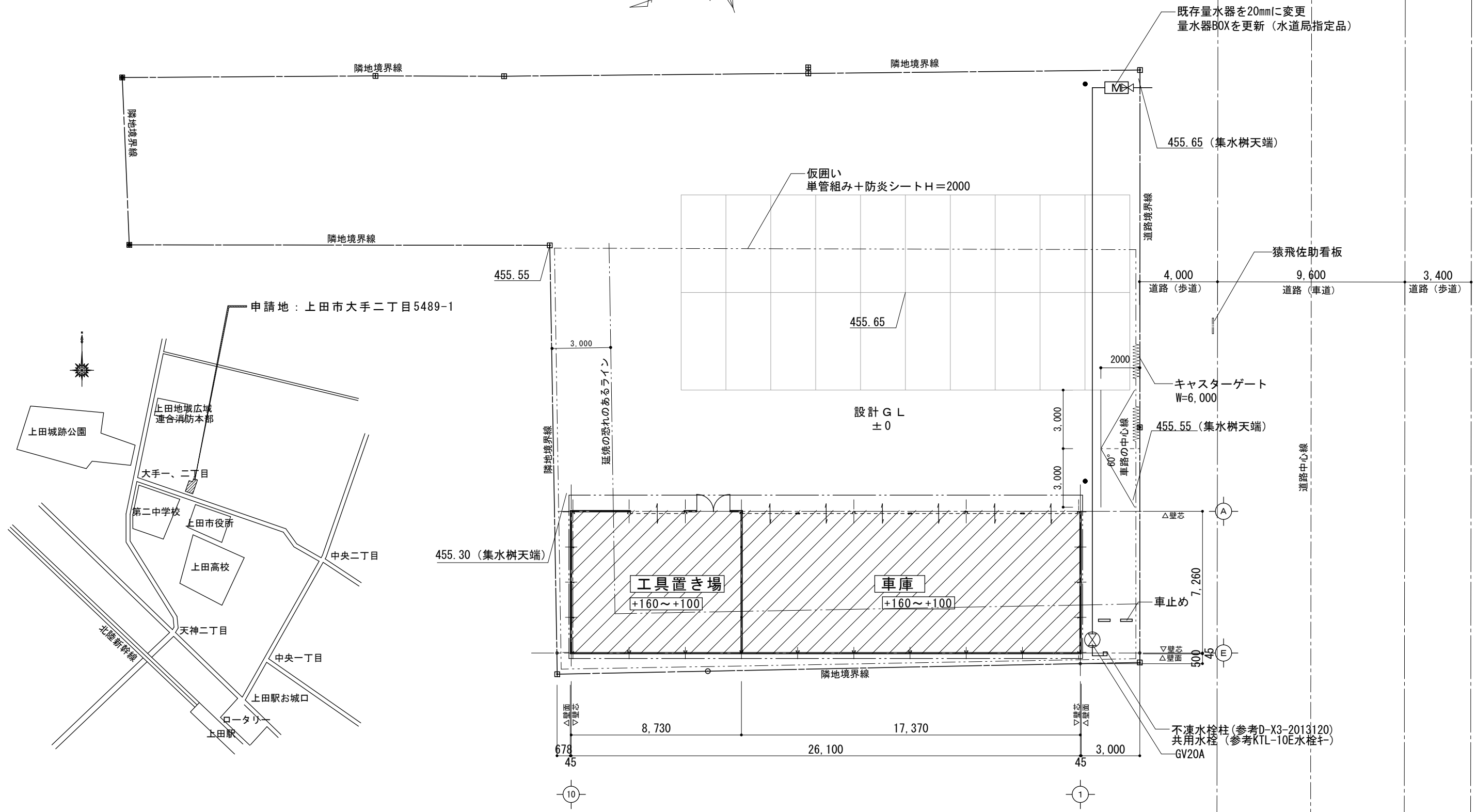
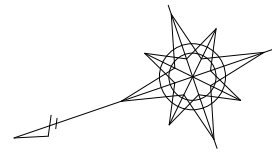
12. 屋上緑化
24. その他
25. 工事現場の環境改善について
26. 不具合の確認
27. 産業廃棄物等の取扱い
28. 環境対策関係
29. 過積載の禁止
30. 安全対策関係
31. 火災保険等
32. 工事実績情報の登録について
33. 工事検査
34. 被害届等
35. 施工図等の取扱い
36. 提出物

③ コンクリート工事	① コンクリートの使用骨材による種類及び強度	※ 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)	設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$	気乾単位容積質量 (t/m^3)	スラブ (cm)	適用箇所	
	② レディーミクストコンクリート	種類 ※ I類 ・ II類 (6.2.1)(表6.2.1)	・ 21 ※ 24	2.3程度	○ 15 ・ 18 18	※ 基礎、基礎梁、土間スラブ ※ 柱、梁、スラブ壁	
	③ セメントの種類	セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 適用箇所 下記以外全て (6.3.1)(表6.3.1)	・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210Cに示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。			
	④ 骨材の種類	使用骨材のアルカリシカ反応による区分 ※ A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量 $Rt=3.0kg/m^3$ 以下) (6.3.1)(6.11.2)	水和熱	7日 352 J/g 以下	28日 402 J/g 以下		
	⑤ 混和材料	① 混和剤 (JIS A 6204に適合するAE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。) ・ 混和材 (JIS A 6201に適合するフライアッシュのI種又はII種、JIS A 6206に適合する高炉スラグ微粉末又はJIS A 6202に適合する膨張材) (6.3.1)					
	⑥ 構造体強度補正	セメントの種類 コンクリートの打込みから材齢28日までの期間の予想平均気温 θ の範囲 (°C) ① 普通ポルトランドセメント 構造体強度補正值 (S) (N/mm ²) (6.3.2)(表6.3.2)	0 ≤ θ < 8	8 ≤ θ	6	3	暑中コンクリート (日平均気温の平均値が25°Cを超える期間にコンクリートを打込む場合) 構造体強度補正值 ※ 8N/mm ²
	⑦ 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1~6.14.3)	設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$	スラブ (cm)	セメントの種類	適用箇所	・ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種
	8. 打継ぎ目地の寸法、位置及び形状	目地寸法 ・ 標仕9.7.3による (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) 間隔 ・ 意匠図による (6.8.2) 位置 ・ 意匠図による (6.8.2) ※ ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し厚さ部で処理する					
	⑨ コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6.2.5)(6.6.6)(6.8.2)(表6.2.4)	種別	適用箇所			
	⑩ 打増し厚さ、ひび割れ誘発目地	打増し厚さ ・ 打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm ・ 床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う ・ 10mm ・ 20mm 打増し範囲 ・ 意匠図による ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ○ 意匠図による (6.8.1)					
11. コンクリート躯体表面の処理	MOR工法 施工範囲 ※ 外装タイル後張り面の躯体表面 ・ 意匠図による MOR工法は、せき板面にMOR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。 高圧水洗工法 施工範囲 ・ 意匠図による コンクリートの増打ち厚さ ※ 20mm 高圧水洗工法の目荒しは、水圧50N/mm ² 以上かつ2.5分/ml以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承認を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承認を受ける。						
⑬ 型枠	せき板の材料 ○ 合板 (・ 表面加工品 ・ 表面品質B-C) 材質 ※ 複合合板 ・ 針葉樹合板 ・ 広葉樹合板 厚さ ※ 12mm ・ 床型枠用鋼製デッキプレート 使用箇所等 ※ 構造図による ・ 断熱材兼用型枠 適用及び適用箇所について ※ 特記仕様書 19.11 による (6.8.2)						
⑭ 型枠の存置期間及び取外し	標仕6.8.5による。 (6.8.4)						
⑮ コンクリートの養生方法	標仕6.7による。 (6.7.1~6.7.3)						

⑮ コンクリート強度及び試験方法	標仕6.5.5、6.9.2、6.9.3、6.9.4による。 (6.5.5)(6.9.2~6.9.4)		
⑯ 生コンの品質管理	打ち込み量50m ³ 以上となるコンクリート工事においては担当技術者を配置し、監督職員に報告すること。供試体には、工事受注者がサインしたQC版(供試体型枠側面に張り付ける確認版)を入れる。		
17. コンクリートの単位水量測定	○ 行わない ・ 行う 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上、及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標仕6.3.2(2)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次のとおりとして施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打致する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定をする。 3) 設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不適合生コンについては、確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エーメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。		
⑰ 鉄骨工事	① 鉄骨の製作工場 製作工場の加工能力 (7.1.3) ※ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「()グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ○ 監督職員の承諾する製作者		
⑱ 施工管理技術者	※ 適用する (7.1.3)(7.1.4)(7.6.2)(7.12.2) ・ 適用しない		
⑳ 製作精度	※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」による (7.3.3)		
㉑ 建方精度	※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」、付表5「工事現場」による (7.10.2)		
㉒ 鋼材	鋼材の材質 (7.2.1)(表7.2.1) ○ 構造図(A-18)に別記する	種類の記号	適用箇所
6. 高力ボルト	区分 (7.2.2)(7.3.2) ・ トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) 認定番号 () ・ JIS形高力ボルト 2種 (F10T) 高力ボルトの径 ※ 構造図による すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う (7.4.2)	・ SS400 ・ SM400 ※ JIS規格による ・ SN400A ・ SN400B ・ SN400C ※ JIS規格による ・ STR400 ・ STR490 ※ JIS規格による ・ BCR295 ・ BCF235 ・ BCF325 大臣認定 () ・ SM490A ※ JIS規格による ・ SN490B ・ SN490C ※ JIS規格による ・ SSC400 ※ JIS規格による	
① 縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.2)(7.3.2) ※ 図示		
8. 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ・ 1種 (F8T) 認定番号 () (7.2.2) 摩擦面の処理 (7.12.5) ※ プラスト処理(表面粗度50μm以上) ・ りん酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ・ 構造図による		
③ アンカーボルト	材質 (7.2.4) ○ 構造用 ○ SNR400B ・ SMR490B ・ 建方用 ・ SS400 アンカーボルト及びナットのおじの種類、規格、おじの等級の規格及び仕上げ ○ 構造用 ※ JIS B1220「構造用転造両ねじアンカーボルトセット」 ※ JIS B1221「構造用切羽両ねじアンカーボルトセット」 ・ 建方用 ※ 普通ボルトによる 保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1) ・ 構造用 ※ 構造図による ・ 建方用 ・ 標仕 表7.10.1 (・ A種 ・ B種 ・ C種) による		
⑩ 普通ボルト	ボルト及びナットの材料等 ※ 標仕表7.2.3による ボルトの径 ※ 図示		

11. 柱底均しモルタル	モルタルの種類 (7.2.9) ・ 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 材料、割合等 ・ 標仕 7.2.9による 品質及び試験方法 ・ 標仕 表7.2.6による 工法の種別 ・ 標仕 表7.10.2による ・ A種 [モルタル厚さ50mm] ・ B種 [モルタル厚さ30mm]		
⑫ ターンバックル	種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル調 ・ 割付式 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト ねじの呼び ○ 構造図 (A-18) による		
13. デッキプレート	工法の種別 (7.2.7) ・ 合成スラブ ・ 床型枠用 ・ 構造図 () による 材質、形状及び寸法 ・ 鋼材 () による 鉄骨部材への溶接方法 ・ 構造図 () による 耐火認定 ・ あり ・ なし		
14. スタッドボルト	径(呼び名) 長さ(呼び長さ) (mm) 適用箇所 (7.2.5)	16φ ・ 80 ・ 100 ・ 120 19φ ・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150 22φ ・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150	
15. 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 構造図 () による ・ 図示 適用箇所 ・ 構造図 () による ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部		
16. 溶接接合	スカラップの形状 ・ 改良型 ・ ノンスカラップ ・ 図示 (7.6.7) エンドタブの切除 ・ 行う 適用箇所 ・ 全て ・ 構造図 () による ・ 行わない		
17. 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.12) ※ 行う ・ 工場溶接の場合 平均出検品質限界(AOQL) (%) ※ 4.0 ・ 2.0 節 ・ 全て 検査水準 ・ 第1水準 ・ 現場溶接の場合 AOQL (%) ※ 4.0 ・ 2.0 ・ 行わない 外観検査 ※ 行う (検査率 ※ 全数 ()) ・ 行わない (H12建設省告示第1464号第2号による) ※ 超音波検査率 工場溶接部については自主検査100%、第三者による受入検査30%とする 現場溶接部については第三者による受入検査100%とする		
⑩ 鎮止め塗装	塗料の種類 (7.8.4)(18.3.2) 鉄鋼面 種別 適用箇所 ○ 標仕 表18.3.1 A種 ○ 屋外(標仕7.8.2の範囲以外) ・ 標仕 表18.3.1 B種 ・ 屋内(標仕7.8.2の範囲以外) ・ ・ 亜鉛めっき面 種別 適用箇所 ・ 標仕 表18.3.2 A種 ・ 屋外、屋内 ・ ・ 鋼製スリーブの内側(鉄骨に溶接されたもの) 種別 適用箇所 ・ 標仕 表18.3.1 B種 ・ ・		
19. 耐火被覆	種別等 (7.9.2~7.9.7) 種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式吹付けロックウール ・ ・ ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ 耐火材巻付け ・ 高耐熱ロックウール ・ ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性能 適用箇所(部位・部分) ・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火		


20. 溶融亜鉛めっき	種別等 (7.12.4)(表14.2.2) 亜鉛めっきの種別 材料 適用箇所 ・ A種 (HD255) 最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板 ・ B種 (HD245) 最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 ※ 構造図による ・ C種 (HD235) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板		
21. 梁貫通孔の補強	補強方法 ・ 補強プレート法 ・ 補強トラス法 適用箇所 ※ 構造図 () による		
① 軽微な変更への対応(予め検討)	施工の関係上、止むを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、予め検討を行っている範囲及び対応方法 尚、本検討は計画図の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない ・ 杭の芯ずれを考慮した検討 ※ 構造図による ・ 杭の長さの変更を見込んだ検討 ※ 構造図による ・ 梁貫通孔の大きさや位置の変更を見込んだ検討 ※ 構造図による ・ 予め検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による		
・ その他共通			

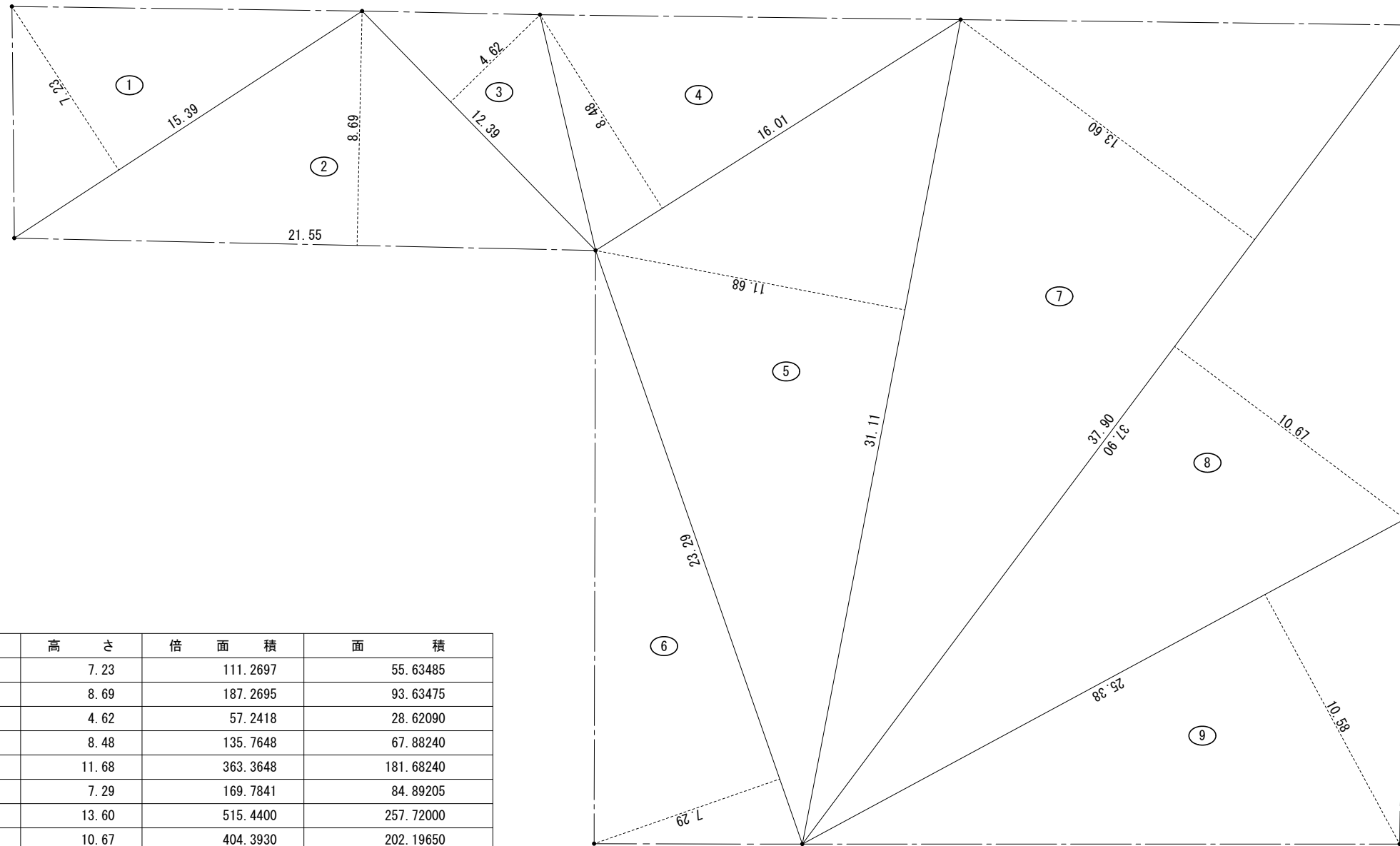


付近見取り図

配置図

● 埋設表示標 (鉄製)
 斜線制限については検討済み
 雨水は宅内処理とする
 ±0 FLの高さを示す
 455.00 標高を示す

 上田市都市建設部建築課	設計年度	Atelier Hues of the Wind	設計事務所	長野県知事登録 (上田)E第74101号 (有)設計工房 風の色	設計者	1級建築士 国土交通大臣登録 第187506号 飯島康男	工事名	市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事	SCALE	NO.
	R-04	一級建築士事務所 (有)設計工房 風の色	名称	住所	代表者	飯島康男	図名	付近見取り図・配置図	S=1:200	



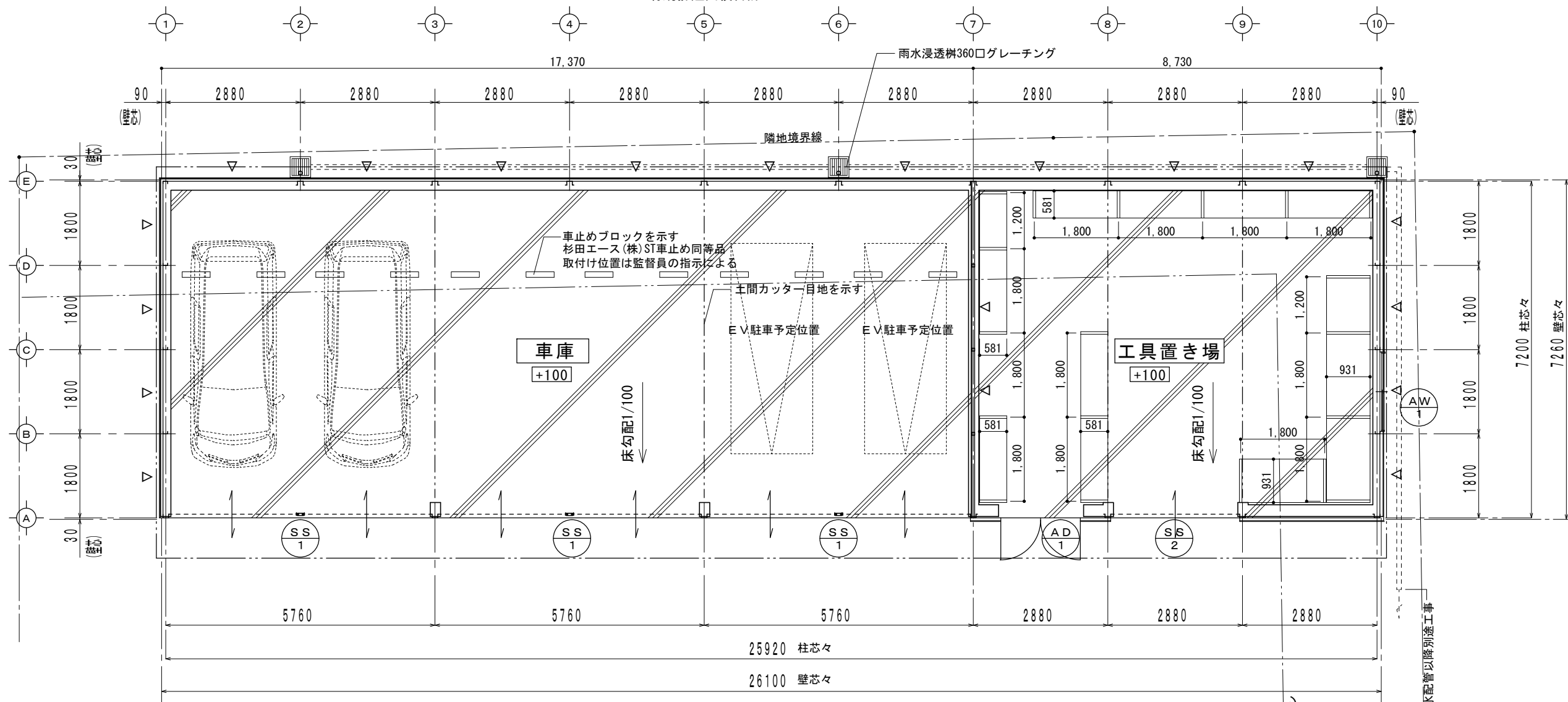
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	15.39	7.23	111.2697	55.63485
2	21.55	8.69	187.2695	93.63475
3	12.39	4.62	57.2418	28.62090
4	16.01	8.48	135.7648	67.88240
5	31.11	11.68	363.3648	181.68240
6	23.29	7.29	169.7841	84.89205
7	37.90	13.60	515.4400	257.72000
8	37.90	10.67	404.3930	202.19650
9	25.38	10.58	268.5204	134.2602
合 計				1,106.5188
敷地面積				1,106.51 m ²



消防法チェック
 防火対象物
 消防法無窓階チェック
 必要開口部面積 189.49×1/30= 6.32m²
 SS1面積 (1箇所) 2.645×3.258= 8.61m²
 開口部面積 8.61 > 6.32 . . . OK

建築基準法チェック
 排煙チェック (車庫)
 必要排煙面積 17.37×7.26×1/50= 2.53m²
 平均天井高= (3.228+3.658)/2=3.443 > 3.000
 平均天井高/2=3.443/2=1.721 . . . 2.100以上有効
 SS1面積 2.645×(3.258-2.10)×4 =12.25m²
 SS1A面積 2.645×(3.258-2.10)×2 = 6.12m²
 有効排煙面積合計 12.25+6.12=18.37 > 2.53 . . . OK

建築基準法チェック
 排煙チェック (倉庫)
 必要排煙面積 8.73×7.26×1/50= 1.27m²
 平均天井高= (3.228+3.658)/2=3.443 > 3.000
 平均天井高/2=3.443/2=1.721 . . . 2.100以上有効
 SS2面積 2.57×1×(3.258-2.10) = 2.98m²
 有効排煙面積合計 2.98 > 1.27 . . . OK

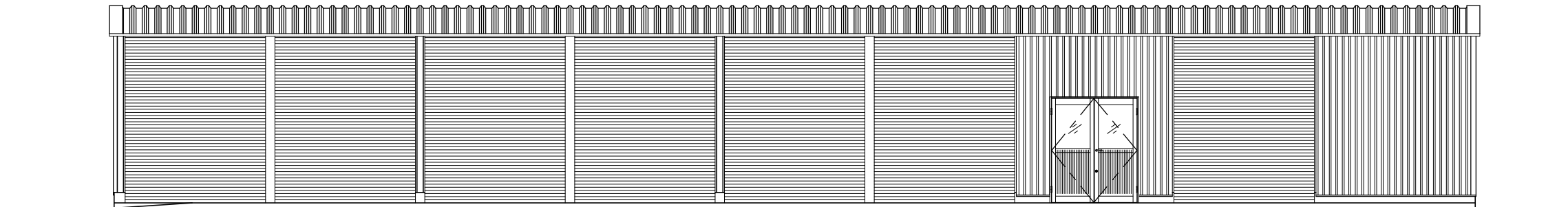


床面積	189.49m ²
主要構造部	軽量鉄骨造・ブレース構造
外部仕上げ表	
屋根	カラーGL鋼板 折板ルーフ720タイプ t=0.6 フネンエース裏貼り ギングロ色
外壁	カラーGL鋼板 角波750型 t=0.35 マットブラック色
基礎巾木	コンクリート打ち放し
入り口建具	手動軽量バランスシャッター、t=0.4
内部仕上げ表	
天井	屋根材表し
壁	外壁材表し
鉄骨部	焼き付け塗装品
床	コンクリート金ゴテ押え
基礎巾木	コンクリート打ち放し
間仕切り壁	カラーGL鋼板 角波750型片面張り
参考型番	HKS9040

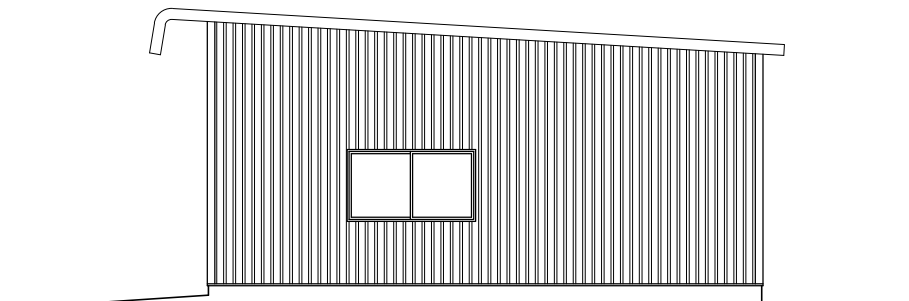
ラック仕様
 中量ボルトレスラック (三進金属工業(株)同等品とする)
 300Kg/段
 基本サイズ W: 図示×H2,400×D図示
 天板、床板を入れて6段
 床へアンカー固定とする

平面図

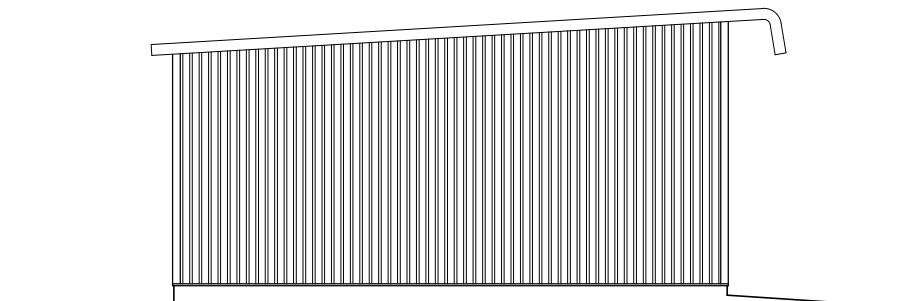
※▽印はブレース位置を示す



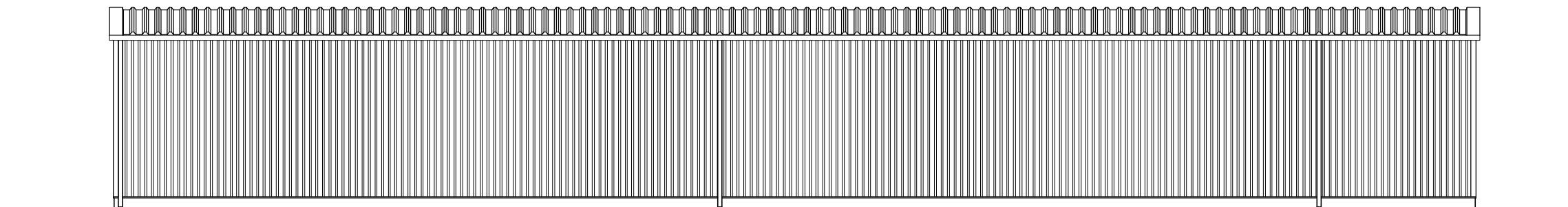
A通 立面図
東面



10通 立面図
北面

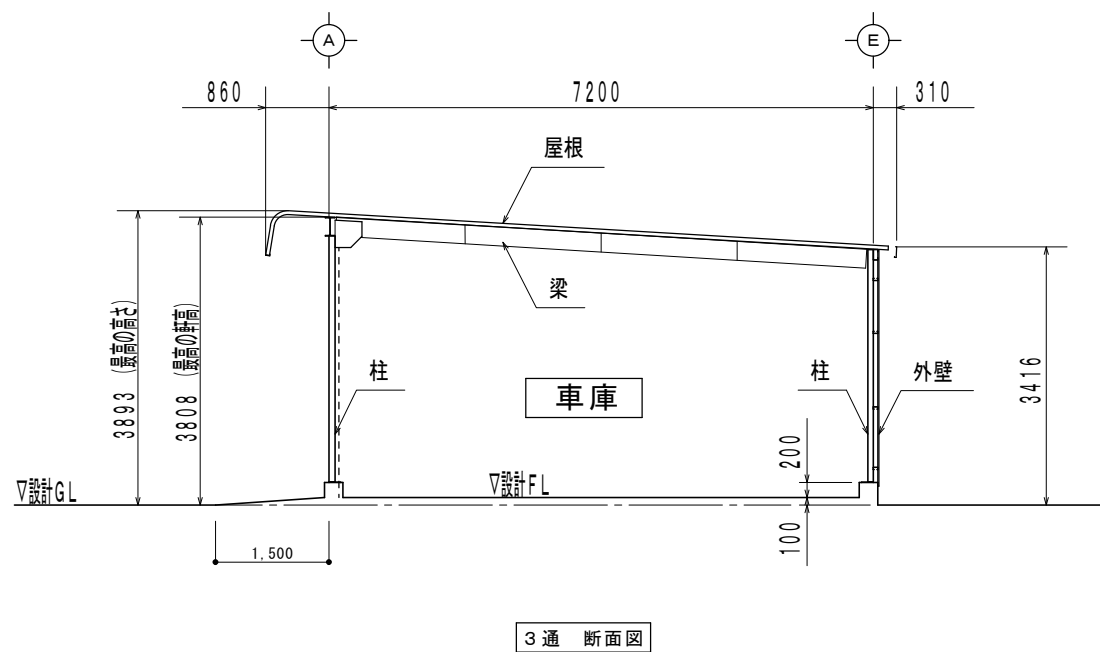
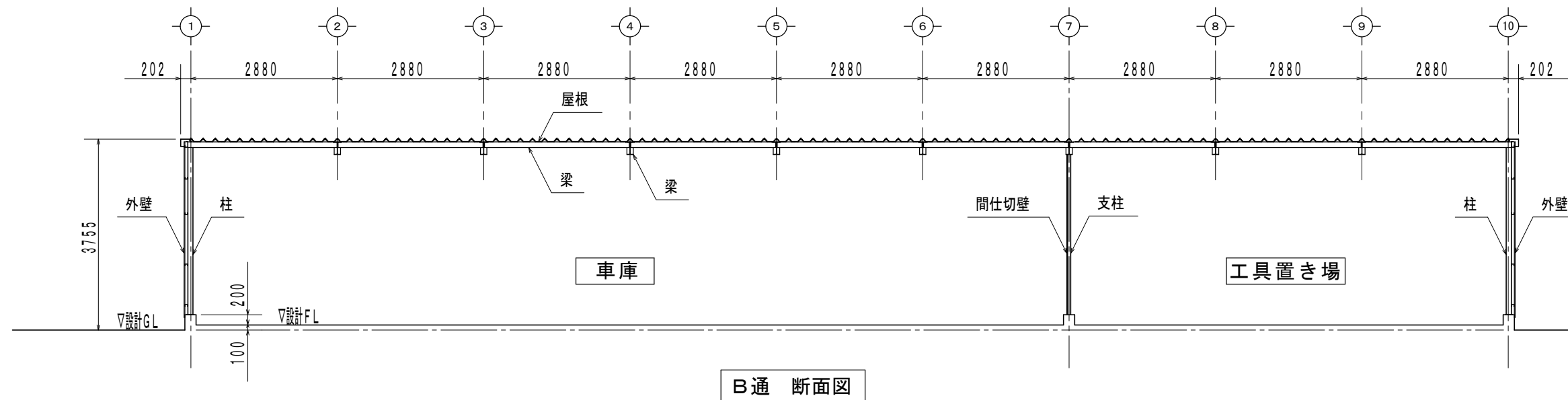


1通 立面図
南面



E通 立面図
西面





上田市都市建設部建築課

設計年度
R-04

Atelier Hues of the Wind
一級建築士事務所
(有)設計工房 風の色

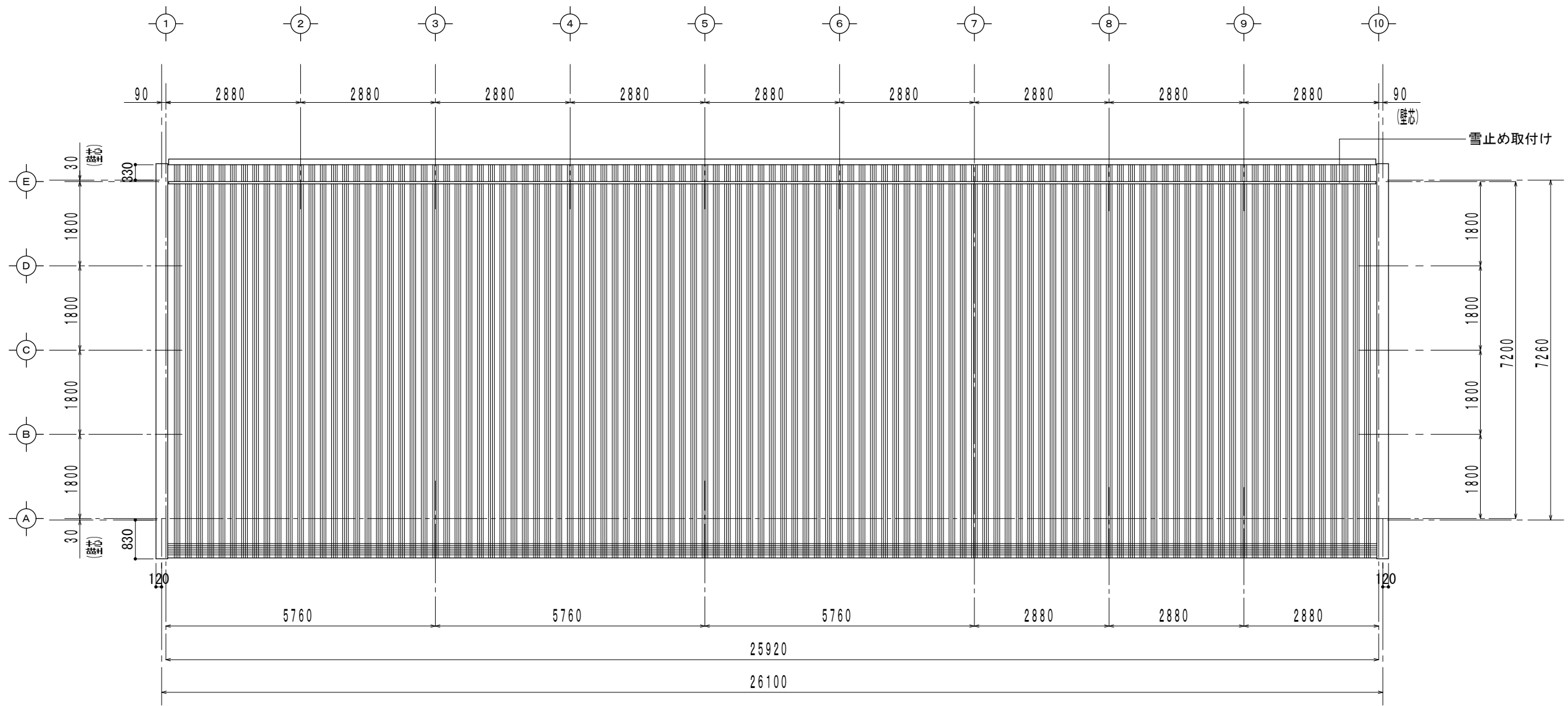
設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 (有)設計工房 風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

工事名 市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事
図名 断面図

SCALE
S=1:100

NO.
A-13



上田市都市建設部建築課

設計年度
R-04

Atelier Hues of the Wind
一級建築士事務所
(有)設計工房 風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 (有)設計工房 風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

工事名
図名

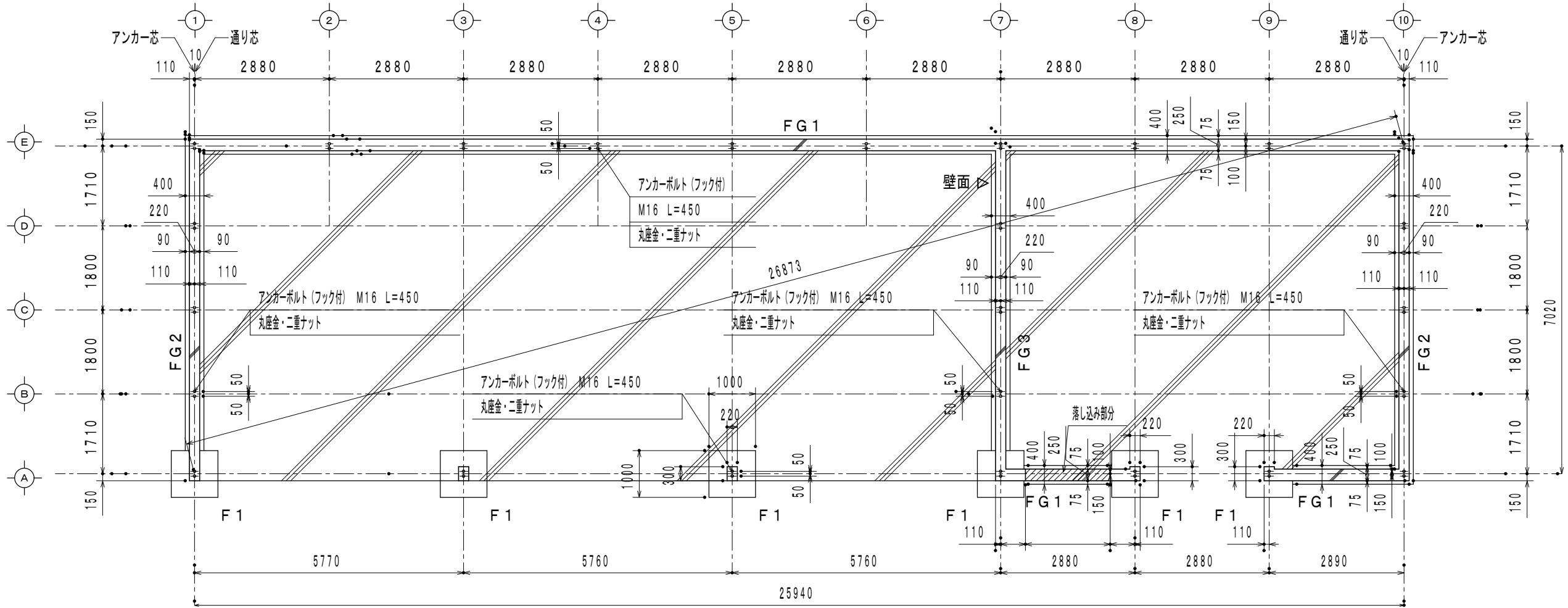
市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事
屋根伏せ図

SCALE
S=1:100

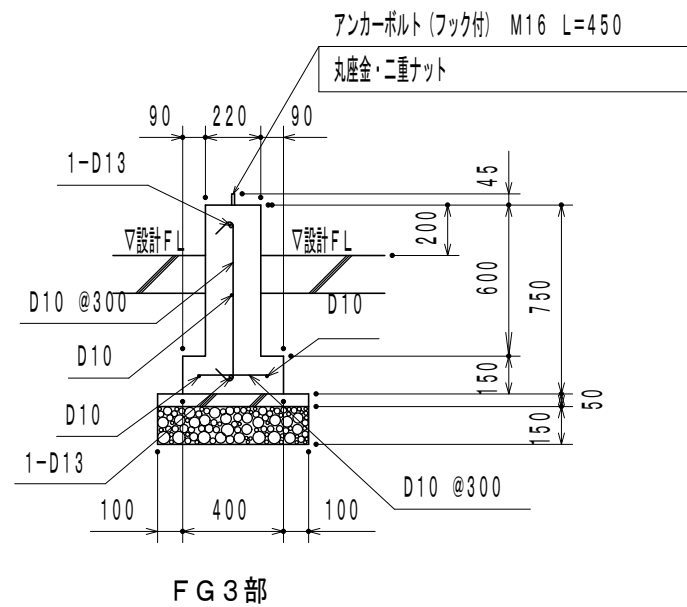
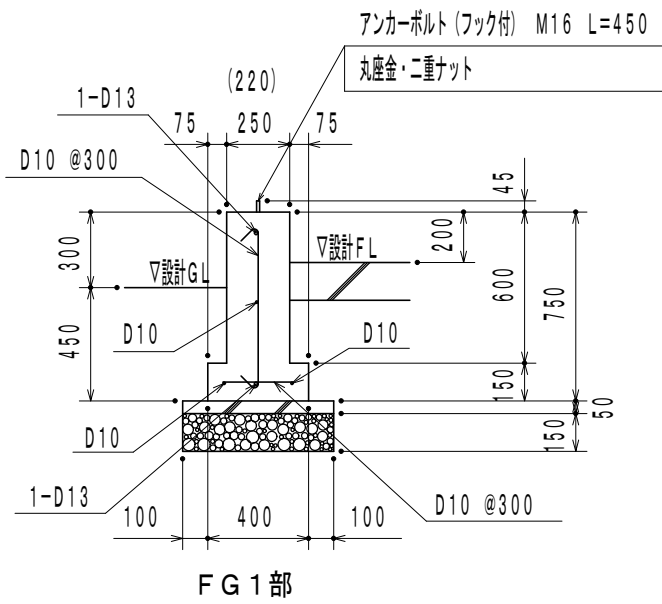
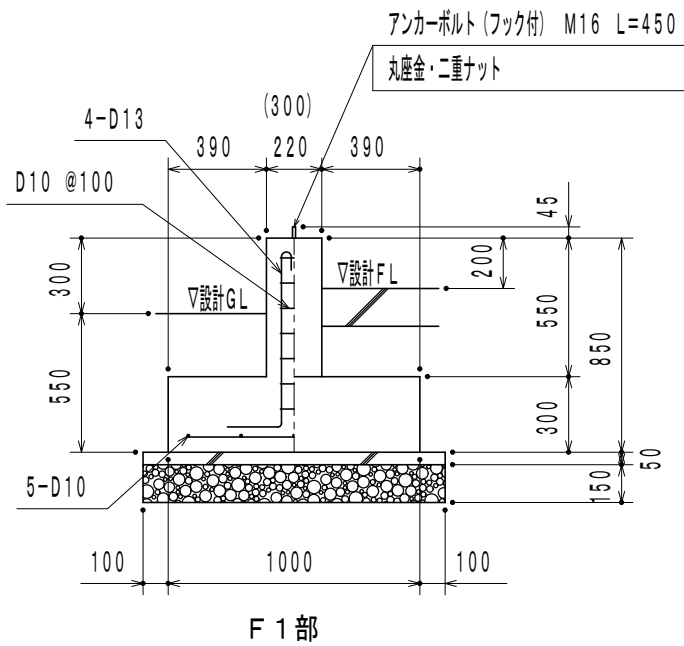
NO.
A-14

建具符号	SS 1 3ヶ所	AD 1 1ヶ所	
姿			
形状・数量	アルミ両開き戸		
材質・見込寸法	カラーアルミ・70		
硝子・塗装	網入り型ガラス6.8		
金物	レバーハンドル、丁番、シリンダー本締（サムターン）錠、SUS沓摺、フランス落とし、ドアチェック		
備考			

建具符号	SS 2 1ヶ所	AW 1 1ヶ所	
姿			
形状・数量	手動バランスシャッター	形状・数量	アルミ引違い窓（防火設備）
材質・見込寸法	スチール、スラット厚さ0.4	材質・見込寸法	カラーアルミ・70
硝子・塗装	焼付塗装品	硝子・塗装	網入り型ガラス6.8
金物	取手、錠	金物	クレセント
備考		備考	平成12年建設省告示第1360号



基礎伏図 1/100



※ () 内寸法はFG2を示す

基礎詳細図 1/30

寸法公差±2mm
この図面はアンカー芯を表示しています。
※長期地耐力 30KN/m²

参考型番HKS9040



上田市都市建設部建築課

設計年度 R-04

Atelier Hues of the Wind
一級建築士事務所
(有)設計工房 風の色

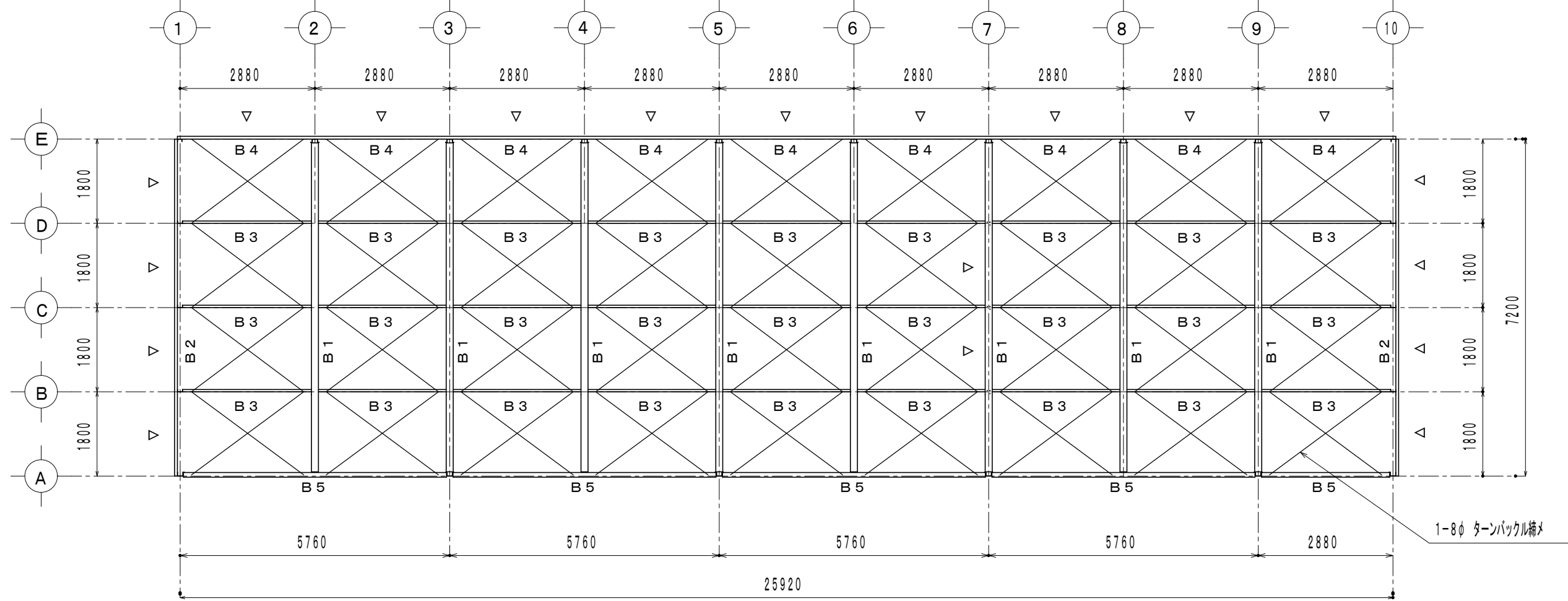
設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 (有)設計工房 風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

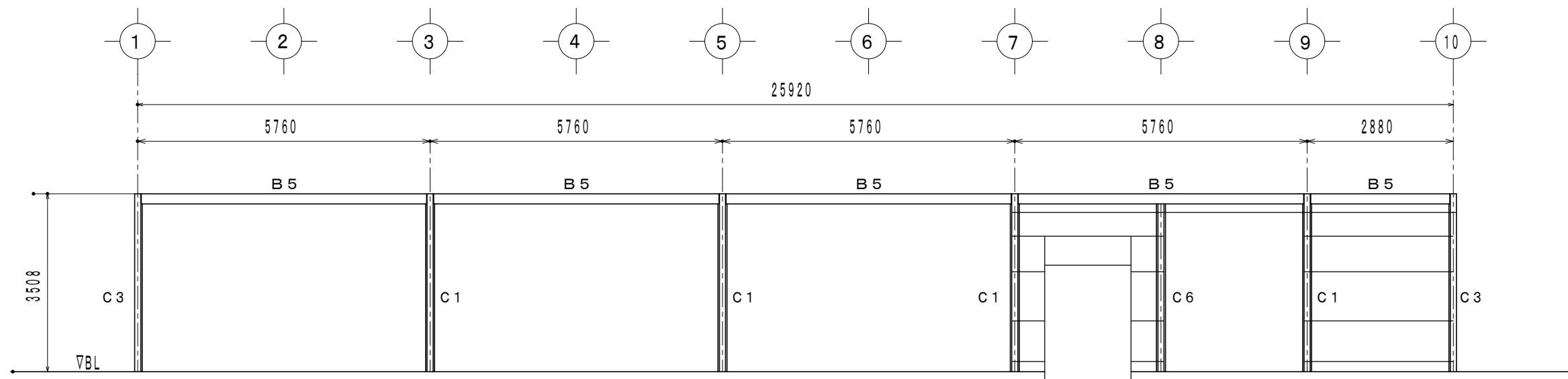
工事名 市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事
図名 基礎伏図・基礎詳細図

SCALE S=1:100

NO. A-16



小屋伏図 ※▽印はブレース位置を示す



A通 軸組図

リスト

符号	メンバー	符号	メンバー	符号	メンバー	符号	メンバー				
C1	[-4. 5x120x80x32	SS400	C5	[-3. 2x100x50	SS400	B3	[-3. 2x113x51x48	SS400	鋼線	C-60x30x10x1.6	SSC400
C2	[-3. 2x122x72x28	SS400	C6	[-3. 2x120x80x32	SS400	B4	[-2. 3x140x60x30	SS400	小屋ブレース	1-8φ ターンバックル締め	SS400
C3	[-4. 5x120x80x76x32	SS400	B1	LH-250x125x4. 5x6	SNH400	B5	H-250x125x6x9	SS400	柱ブレース	1-8φ ターンバックル締め	SS400
C4	[-4. 5x100x60	SS400	B2	[-2. 3x15x110x60x30	SS400	P1	□-60x60x2. 3	STKR400	A.BOLT	M16 L=450	SNR400B

参考型番HKS-9040



上田市都市建設部建築課

設計年度 R-04

Atelier Hues of the Wind
一級建築士事務所
(有)設計工房 風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 (有)設計工房 風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島 康男

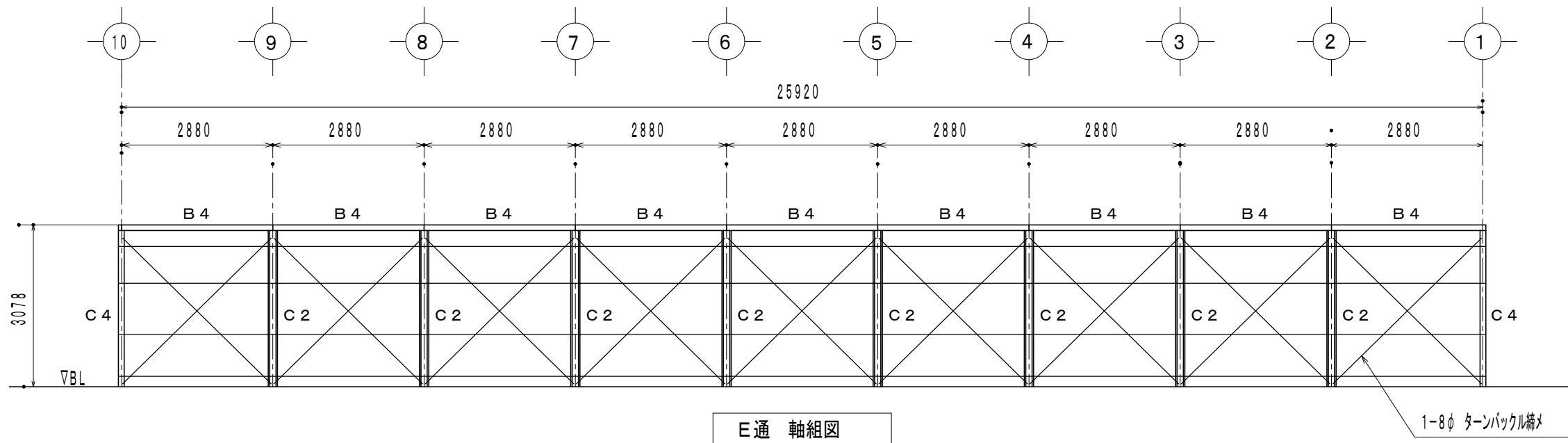
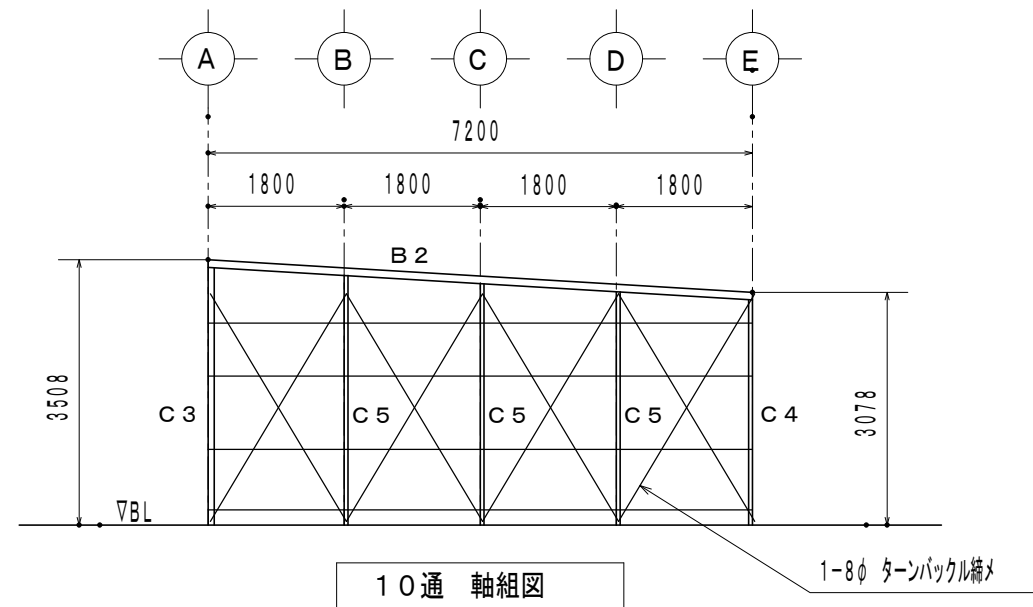
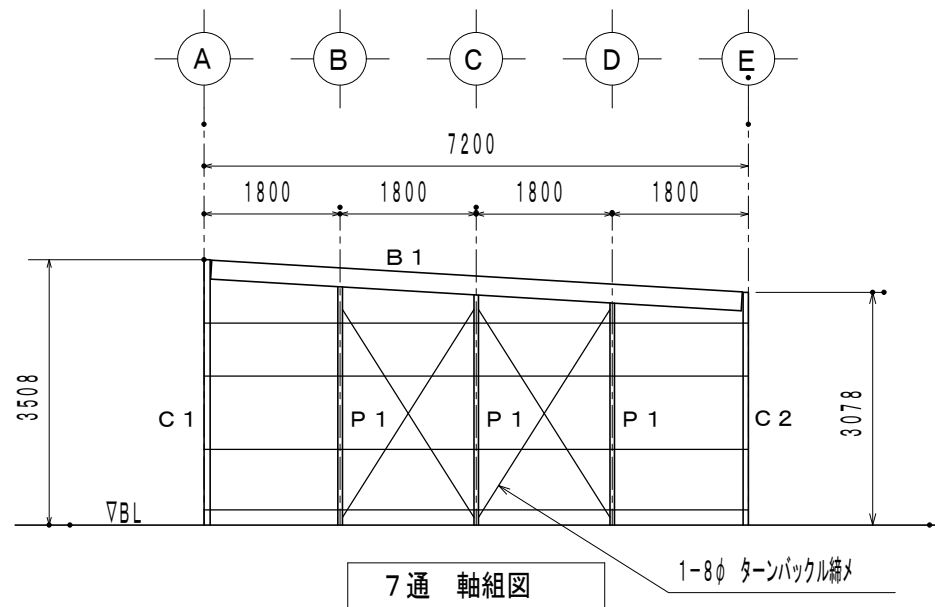
設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島 康男

工事名
図名

市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事
小屋伏図・軸組図・リスト

SCALE
S=1:100

NO.
A-17



リスト

符号	メンバー	符号	メンバー	符号	メンバー	符号	メンバー				
C1	[-4. 5x120x80x32	SS400	C5	[-3. 2x100x50	SS400	B3	[-3. 2x113x51x48	SS400	鋼線	C-60x30x10x1.6	SSC400
C2	[-3. 2x122x72x28	SS400	C6	[-3. 2x120x80x32	SS400	B4	[-2. 3x140x60x30	SS400	小屋ブレース	1-8φ ターンバックル締め	SS400
C3	[-4. 5x120x80x76x32	SS400	B1	LH-250x125x4. 5x6	SNH400	B5	H-250x125x6x9	SS400	柱ブレース	1-8φ ターンバックル締め	SS400
C4	[-4. 5x100x60	SS400	B2	[-2. 3x15x110x60x30	SS400	P1	[-60x60x2. 3	STKR400	A. BOLT	M16 L=450	SNR400B

参考型番HKS-9040



上田市都市建設部建築課

設計年度
R-04

Atelier Hues of the Wind
一級建築士事務所
(有)設計工房 風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号
名称 (有)設計工房 風の色
住所 上田市真田町本原2113-1
代表者 飯島康男

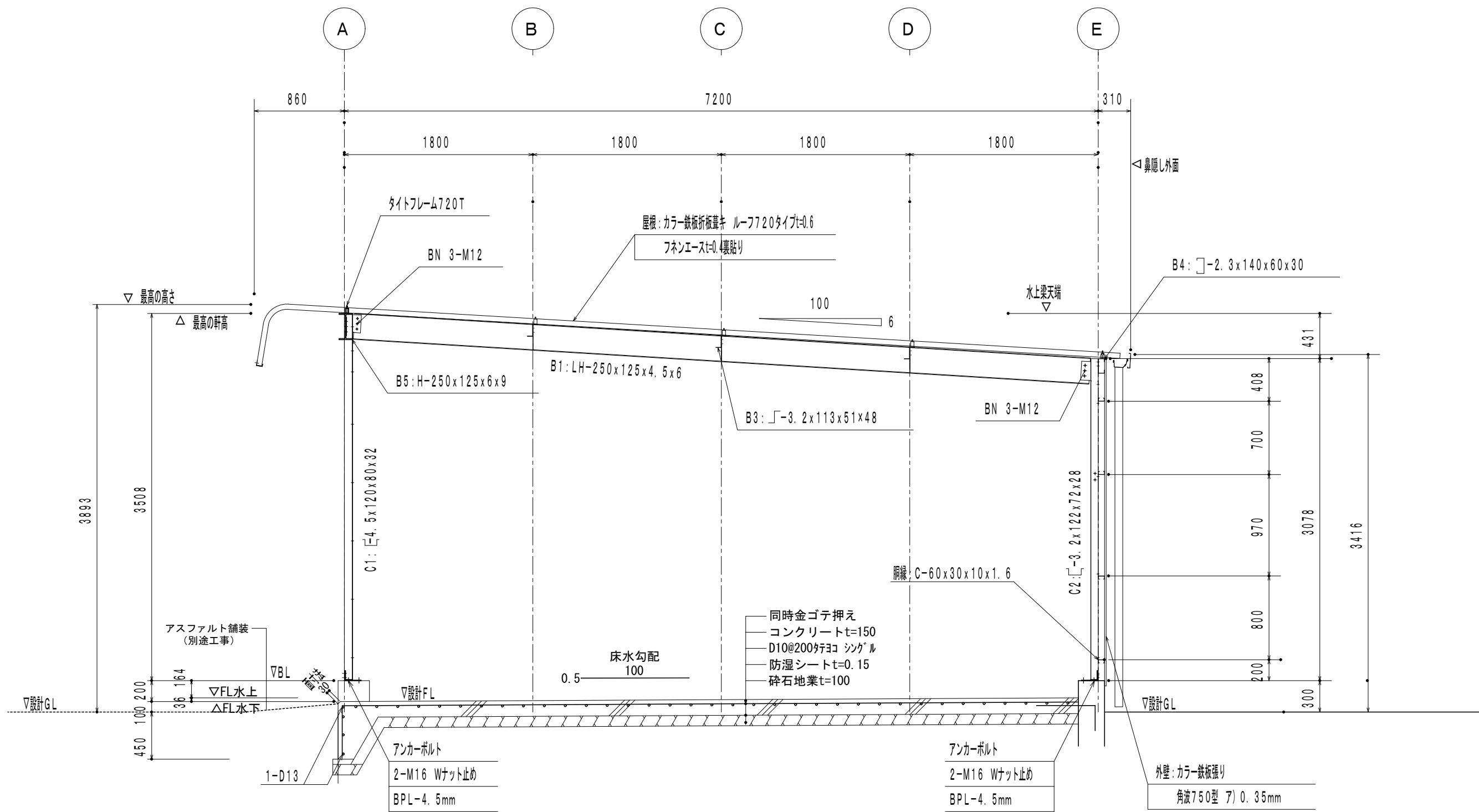
設計者 1級建築士
国土交通大臣登録
第187506号
飯島康男

工事名
図名

市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事
軸組図・リスト

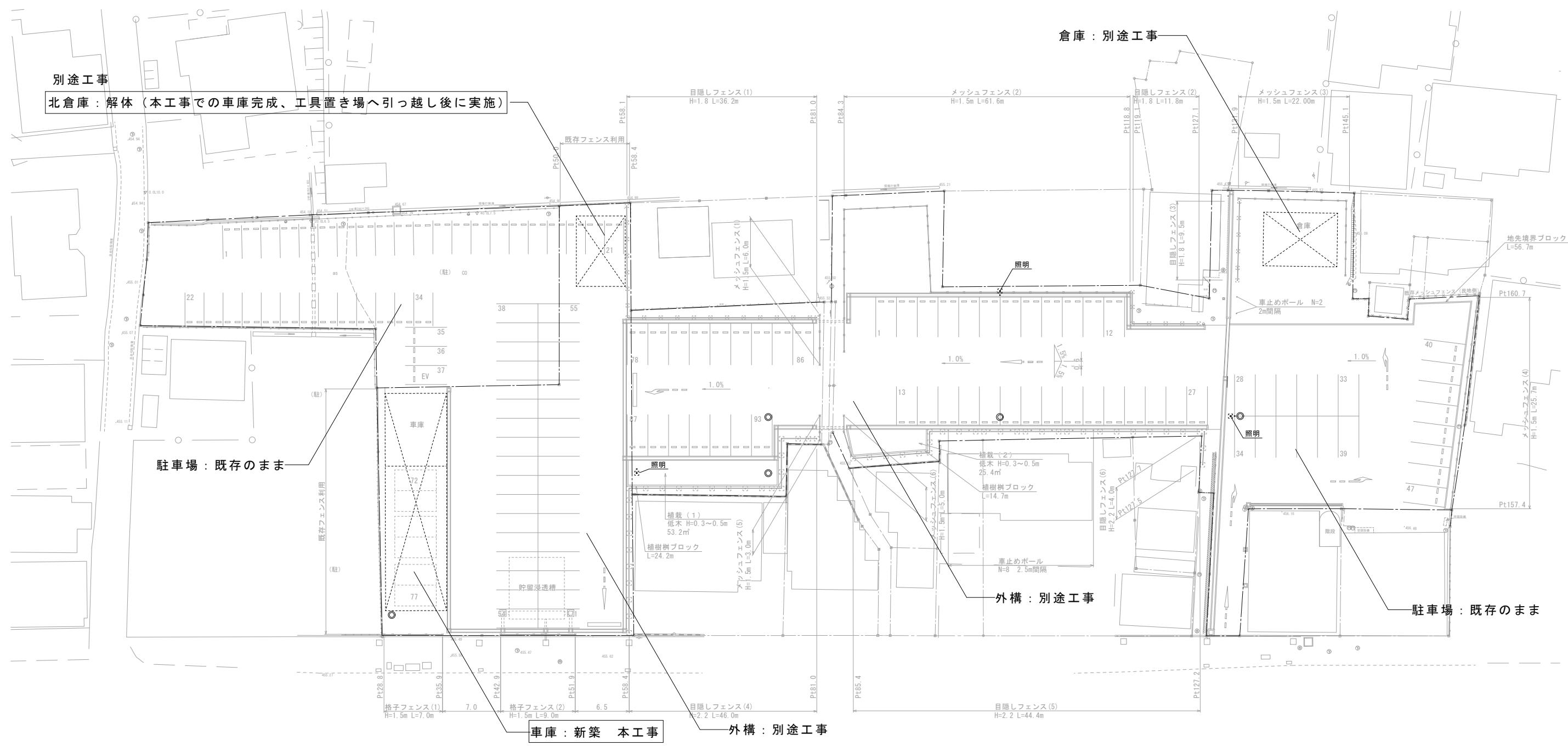
SCALE
S=1:100

NO.
A-18



参考型番 HKS9040

上田市都市建設部建築課	設計年度	Atelier Hues of the Wind	設計事務所	長野県知事登録 (上田)E第74101号	設計者	1級建築士	工事名	市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事	SCALE	NO.
	R-04	一級建築士事務所 (有)設計工房 風の色	名称	(有)設計工房 風の色	国土交通大臣登録	飯島康男				



別途工事
北倉庫：解体（本工事での車庫完成、工具置き場へ引っ越し後に実施）

倉庫：別途工事

駐車場：既存のまま

外構：別途工事

駐車場：既存のまま

車庫：新築 本工事

外構：別途工事

配管配線共に本工事

- 凡例
- ハンドホール
 - ※ 照明施設

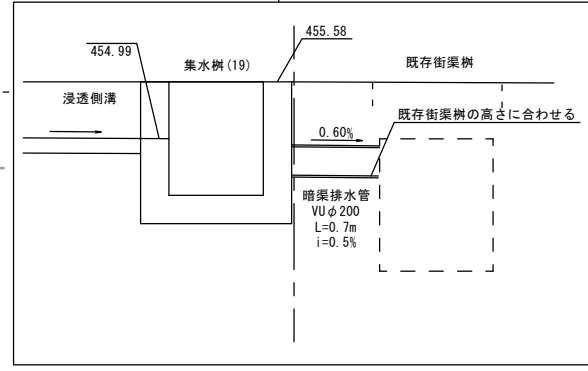
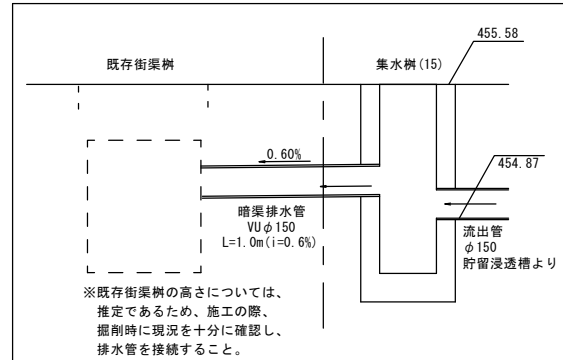
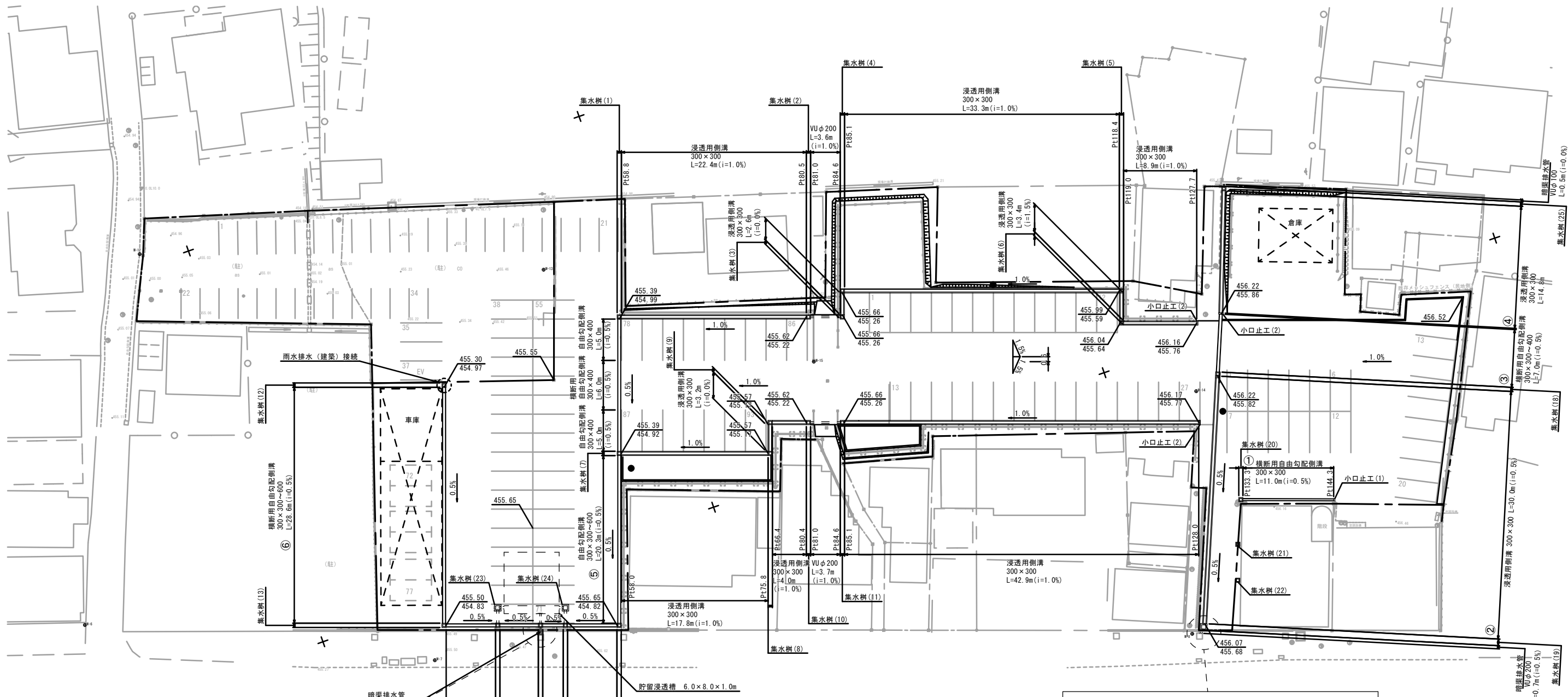
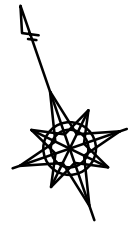
基準点成果表

測点	X	Y	H
M-6	44711.205	-22626.562	455.155
M-7	44893.432	-22587.883	455.373
M-8	44666.709	-22500.133	456.070
M-12	44751.495	-22605.726	454.959
M-13	44733.855	-22560.097	455.507
M-14	44694.324	-22490.152	456.101
M-15	44712.727	-22532.788	455.497

- 境界・境界線の種類
- プラスチック杭
 - コンクリート杭
 - 金属杭
 - 金属プレート
 - ペイントマーク
 - 木杭
 - 鋼杭
 - 計基点

測点	X	Y	H (計基点)
001	44704.773	-22571.465	455.650





■	境界線の種類
□	プラスチック材
□	コンクリート材
□	金網舗装
□	透水性舗装
□	透水性舗装
○	ポイントマーク
○	木
○	柵
○	計測点

計画高
水路底高



上田市都市建設部建築課

事業年度
R-05

事業名
市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事
図名
雨水排水計画図 (参考)

SCALE
A1:S=1/250

NO.
A-21

市役所北駐車場 車庫・倉庫棟建設工事 電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1. 工事場所 上田市大手2丁目5489-1

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
車庫・倉庫棟	軽量鉄骨	地上 1	189.49	(16)項ロ	自動車車庫及び倉庫

3. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外				
		車庫・倉庫棟				
電灯設備	幹線、分岐	○				
動力設備	幹線、分岐					
電熱設備						
常備設備						
受変電設備						
電力貯蔵設備						
静止形電源設備	直流電源装置					
発電設備						
構内情報通信網設備	LAN用配管					
構内交換設備	電話設備					
情報表示設備	時計設備					
映像・音響設備						
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備					
テレビ共同受信設備						
監視カメラ設備						
駐車場管理設備						
防犯・入室管理設備	予備配管					
自動火災報知設備						
自動閉鎖設備						
非常警報設備	非常放送装置					
ガス漏れ警報設備						
中央監視制御設備						
構内配電線路		○				
構内通信線路						
昇降機設備						

4. 図面目録 ○別紙参照 ・下記の通り

番号	図面名称	番号	図面名称
1		11	
2		12	
3		13	
4		14	
5		15	
6		16	
7		17	
8		18	
9		19	
10		20	

II 工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準図」という。)による。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。

2. 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項								
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。								
② 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承認を受ける。 <table border="1"><thead><tr><th>材料・機材名</th><th>材料・機材名</th></tr></thead><tbody><tr><td>○ LED照明器具</td><td>・ 電気錠</td></tr><tr><td>・</td><td>○ その他、監督員の指示によるもの</td></tr><tr><td>・</td><td>(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td></tr></tbody></table>	材料・機材名	材料・機材名	○ LED照明器具	・ 電気錠	・	○ その他、監督員の指示によるもの	・	(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材
材料・機材名	材料・機材名								
○ LED照明器具	・ 電気錠								
・	○ その他、監督員の指示によるもの								
・	(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材								

- 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- 安定的な供給が可能であること。
- 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。
- 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
- 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

③ 化学物質を発散する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

- 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- 保溫材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びシテンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難燃性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
- 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを採用するものとする。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料
第一種	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
第二種	① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ IDJIS(E0)規格品 ④ IDJASのF0規格品

※ 現場説明書による

工現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。契約電力500kVA以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。

- 実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
- 工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。

使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
(1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ()
(2) 引渡しを要するもの以外 ○ 構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。
(3) 特別管理産業廃棄物 ○ 無 ・ 有 (PCB使用機器：関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す)

(4) 再利用又は再資源化を図るもの ○ 無 ・ 有 (・ 廃蛍光灯 ・ コンクリート ・ 木材 ・ アスファルト ・ 金属くず ・ ダンボール類)

※ 設けない ・ 設ける (規模:)
・ 備品 ()

すべて請負者の負担とする。構内に作ることが ○ できる ・ できない

○ 別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
・ 本工事で設置する ()
・ 内部仮設足場等 (・ 架台足場 ・ 移動式足場 ・ 移動式室内足場 ・ 外部足場)

(・ A種[施工箇所面に伸組足場を設ける] ・ B種[施工箇所面に単管木足場を設ける] ・ C種[仮設ゴンドラを使用する] ・ D種[移動式足場を使用する])

本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、請負者の負担とする。

工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
※ 完成図 (※ 設計図書で示したもので、標仕様1.7.1による)
作成方法 ※ 製本 (※ 見開きA3縮小版 3部 (黒表紙文字製本))

※ CADデータ (※ CD-R (2部))
※ 安全に関する資料 (2部) ・
※ 監督員の指示による ・

取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)」による。なお、施工に際し、耐震度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。

(1) 設計用水平地震力
機器の重量[kg]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次にによる。

設計用標準水平地震度	設置場所	機器種別	特定の施設	一般の施設
			重要機器	一般機器
			重要機器	一般機器
	上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5
		防振支持の機器	2.0	2.0
		水槽類(※1)	2.0	1.5
			1.5	1.0
		機器	1.5	1.0
		防振支持の機器	1.5	1.5
		水槽類(※1)	1.5	1.0
			1.0	0.6
		機器	1.0	0.6
		防振支持の機器	1.0	1.0
		水槽類(※1)	1.5	1.0
			1.0	0.6

(※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。
◎ 重要機器の定義は次にによる。
◎ 重要機器 ・ 発電設備 ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・

◎ 上層階の定義は次にによる。
2~6階建の場合は最上層、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章2節8.2.4及び12節による。

確認試験 ・ 引張試験 (本) ・ 施工後確認試験(本)を確認強度(kN)にて行う
・ 施工士の適用(第1種、第2種) あと施工アンカー-施工士による
※ (社)日本建築あと施工アンカー協会認定資格

設計年度 Atelier Hues of the Wind

R-04 一級建築士事務所

(有)設計工房 風の色

設計事務所 長野県知事登録 (上田)E第74101号

名称 (有)設計工房 風の色

住所 上田市真田町本原2113-1

代表者 飯島康男

⑩ 防火区画等の貫通処理

⑪ 電線・ケーブル

22. 予備配管

⑫ 呼び線

24. 金属製電線管の塗装

⑬ 埋め戻し土

⑭ 建設発生土の処理

⑮ ケーブル埋設機

28. ブロック

⑯ フラッシュプレート

⑰ プレートの用途表示

⑱ 配線器具

32. 機器への接続

33. 照度測定

⑲ 盤類

⑳ グリーン購入の推進

㉑ 他工事又は他工種との

取り合い

3. ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)

ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部はハンドホール内側底部をいう)

・ コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。

・ ブロックの仕様は国土交通省仕様基準のものとする。

・ ハンドホールは原則として覆い部分を設けてはならない。

・ 配管貫通部は、ロックとして巻きコンクリート(F=18N/mm以上)とし、差し筋D10タテ割@200で補強する。

・ 補強方法については、あらかじめ監督員にハンドホール製作図を出して承諾を受けて施工する。

① ハンドホール No.- 1,500×1,500×1,500 底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)

② ハンドホール No.- 1,200×1,200×1,500 底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)

③ ハンドホール No.- 1,000×1,000×1,400 底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)

④ ハンドホール No.- 1,000×1,000×1,100 底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)

⑤ ハンドホール No.- 1,000×1,000×900 底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)

⑥ ハンドホール No.- 900×900×1,000 底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)

⑦ ハンドホール No.- 900×900×900 底部 GL-1,060以上 (既設足場付)

⑧ ハンドホール No.- 600×600×680 (再製足場付)

⑨ ハンドホール No.- 450×450×680 ※ 植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

⑩ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑪ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑫ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑬ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑭ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑮ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑯ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑰ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑱ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑲ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

⑳ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉑ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉒ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉓ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉔ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉕ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉖ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉗ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉘ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉙ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉚ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉛ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉜ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉝ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉞ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㉟ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊱ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊲ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊳ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊴ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊵ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊶ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊷ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊸ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊹ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊺ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊻ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊼ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊽ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊾ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

㊿ ハンドホール No.- 差 (Eマーク入)

5. 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

	A種接地	鋼棒 1.5t×900×900 補助接地棒(連結式10φ×1,500) リード端子付 絶縁塩化中心深さ 2m 埋設機(黄銅製又はステンレス製)
	B種接地	鋼棒 1.5t×600×600 補助接地棒(連結式10φ×1,500) リード端子付 絶縁塩化中心深さ 2m 埋設機(黄銅製又はステンレス製)
	C種接地	鋼棒 1.5t×300×300 補助接地棒(連結式10φ×1,500) リード端子付 絶縁塩化中心深さ 1.5m 埋設機(黄銅製又はステンレス製)
○	D種接地	接地棒(10φ×1,500) リード端子付 打ち込み式 埋設機(黄銅製又はステンレス製)

6. その他

① 工事現場の環境改善について

工事現場のイメージアップ
・ 仮囲い周辺の美化
・ 地域住民への情報提供
・ 完成予想図の設置
・ 情報掲示板の設置
・ パンフレットの作成
・ 地域住民とのコミュニケーション
・ 現場見学会の開催

住民に対する災害防止関係
・ 現場出入口周辺への誘導員の配備
工事しゅん工後10ヶ月、20ヶ月(新築に限る)に不具合の確認を行い、その結果を書面で上田市長あてに報告する。(施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。)

(1) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自ら処理(分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為)するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という)に基づき、適正に行うこと。

(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づき処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理法の許可証の写し、許可運搬車両一覽並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積みみ状況の写真、処分状況の写真、マニフェストA票、E票、票並びにE票の写しを添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出すること。

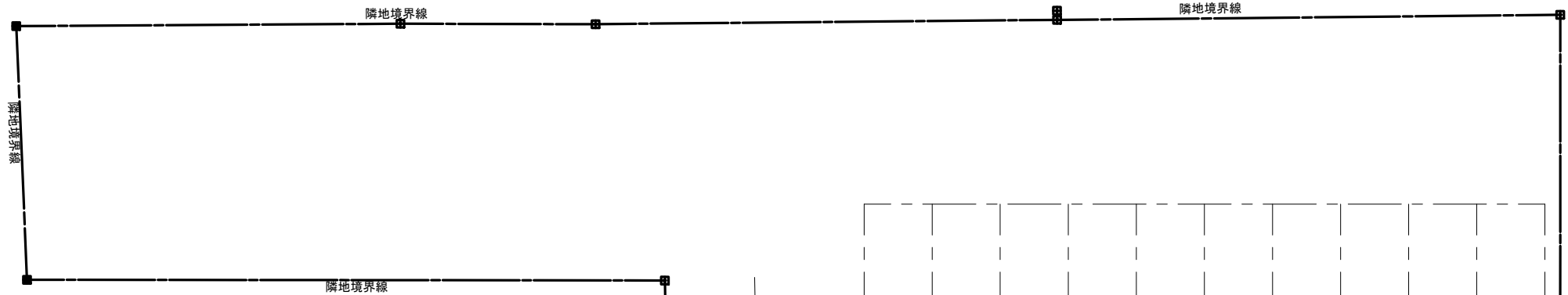
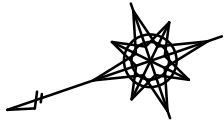
(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
(2) 夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルート上の選定に当たっては影響の少ない最短路を選定すること。
(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。
(4) 熱帯材合板型土留め、許可運搬車両一覽並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
(2) 夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルート上の選定に当たっては影響の少ない最短路を選定すること。
(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。
(4) 熱帯材合板型土留め、許可運搬車両一覽並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
(2) 夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルート上の選定に当たっては影響の少ない最短路を選定すること。
(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。
(4) 熱帯材合板型土留め、許可運搬車両一覽並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
(2) 夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルート上の選定に当たっては影響の少ない最短路を選定すること。
(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。
(4) 熱帯材合板型土留め、許可運搬車両一覽並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。

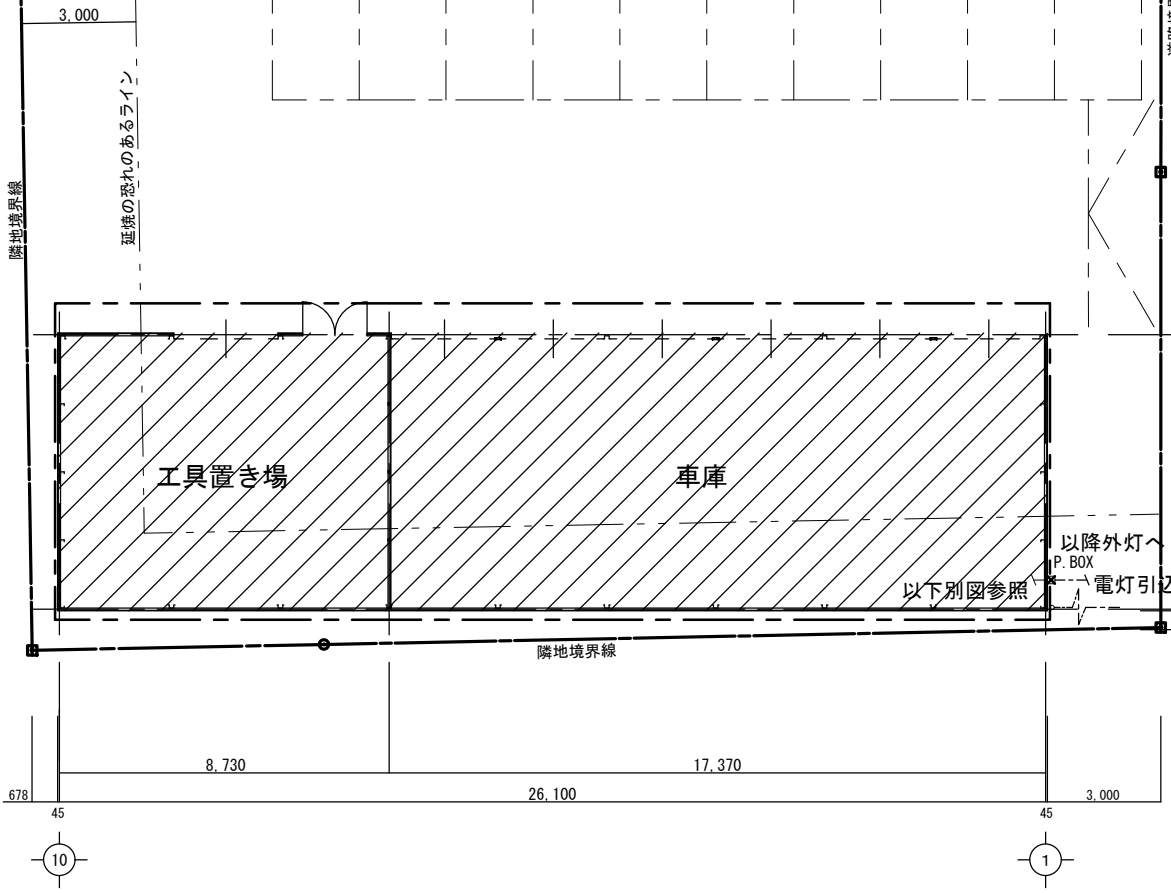
(1) 現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
(2) 夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルート上の選定に当たっては影響の少ない最短路を選定すること。
(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。
(4) 熱帯材合板型土留め、許可運搬車両一覽並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に




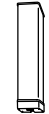
4.000 道路(歩道) 9.600 道路(車道) 3.400 道路(歩道)



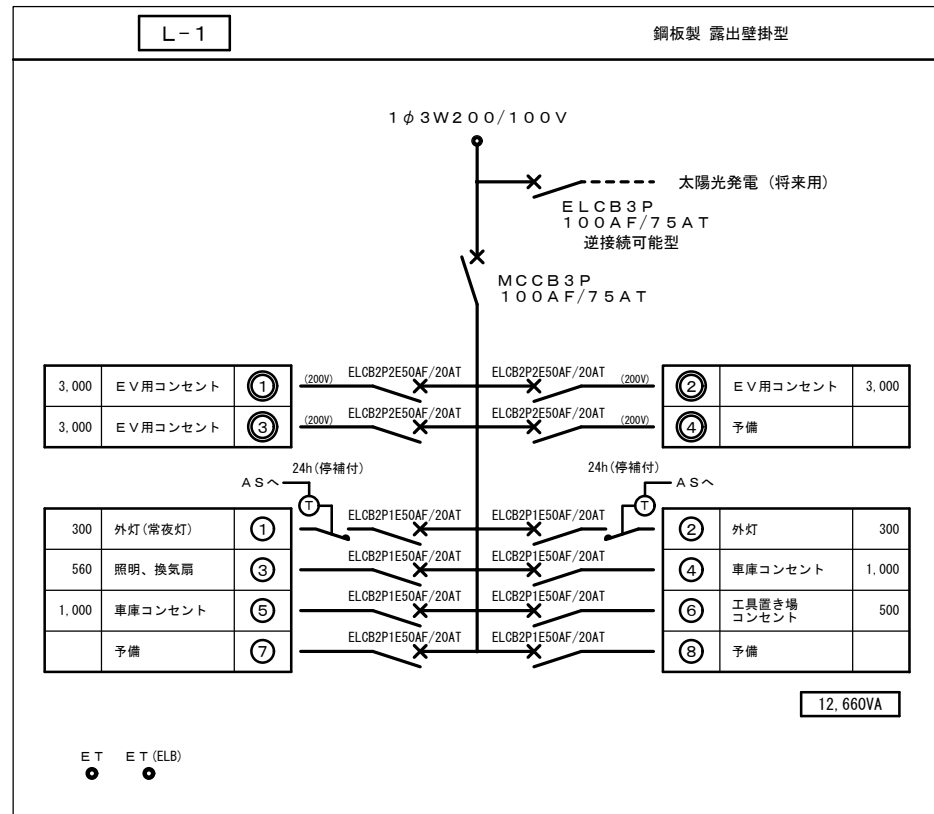
付近見取り図



配置図

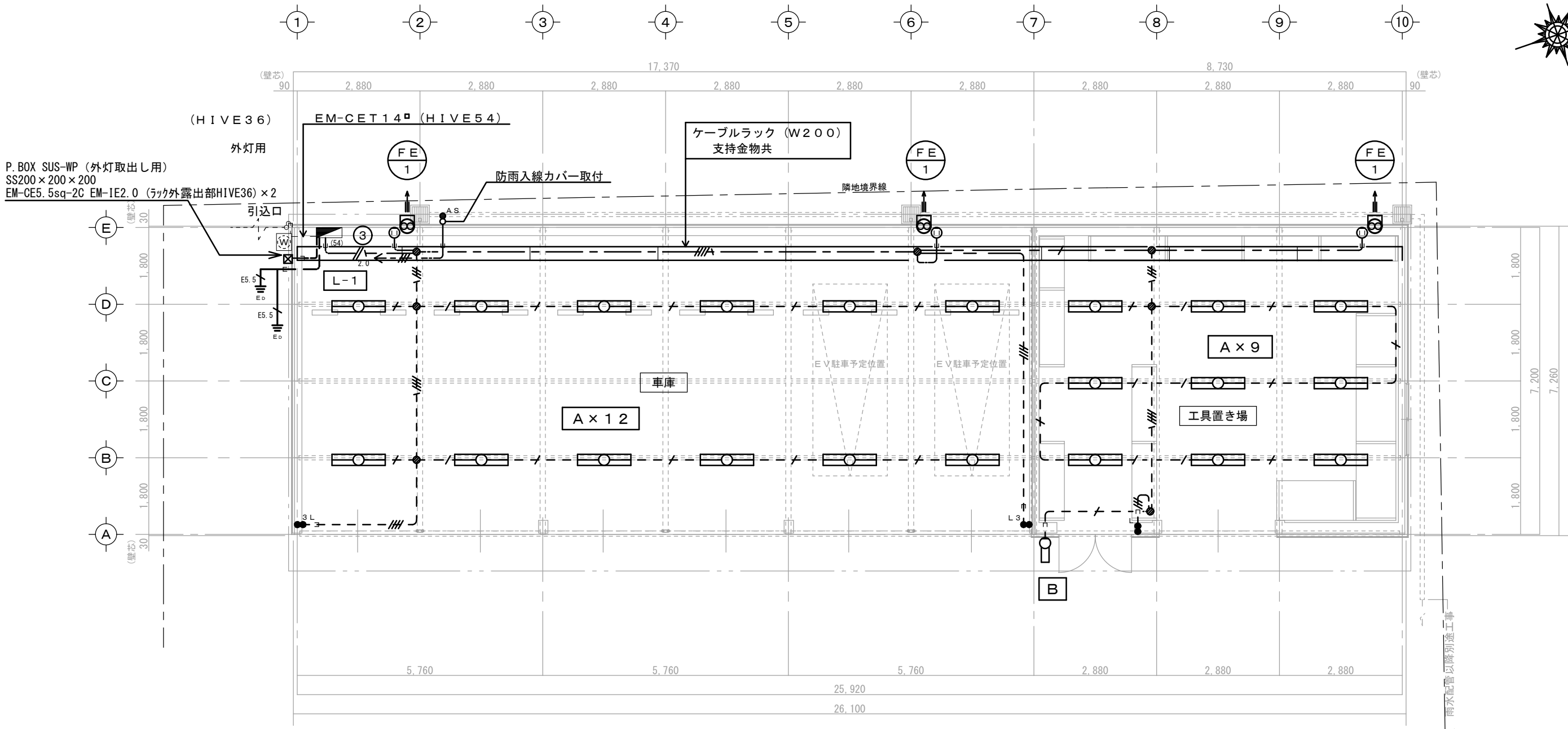
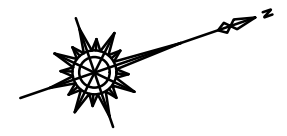
反射笠付型40形		センサ機能付ウォールライト	
A	LED 25.0W	B	LED 14.9W
 <p>[参考仕様] 一般タイプ、4000lmタイプ 本体：鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光源寿命：4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83</p>		 <p>[参考仕様] 防雨型、熱線センサ・E Eセンサ付(ON/OFF型) 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート(乳白) 光源寿命：4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83</p>	

記号	名称	記事
●	埋込スイッチ	1P15A
●3	埋込スイッチ	3W15A
●L	埋込スイッチ	1P4A 確認表示灯付(ON表示)
●AS	自動点滅器	光電式 100V3A
⓪	埋込コンセント	2P15A×1
⓪ _{2ET}	埋込接地端子付接地コンセント	2P15A(E付)×2+ET付
⓪ _{20A}	屋外コンセント(EV用)	2P20A×1(250V)
⓪ _{WP20A}	カバー付屋外コンセント(EV用)	2P20A×1(250V) 簡易鍵付
⓪	壁付換気扇	機器表参照
⊙	ジョイントボックス	Fケーブル用
⊠	ブルボックス	寸法・仕様 図中参照
⓪	電灯分電盤	盤結線図参照
⓪	電力量計器	計器取付用板設置 (樹脂製)
≡	接地極工事	D種 測定共



機番	名称	機器仕様	消費電力	数量	備考
FE-1	壁付換気扇	金属製換気扇(電気式) 風圧式シャッター付 羽根径: 210φ 風量(m ³ /h): 606 静圧(Pa): 35 不燃枠 ウェザーカバー(SUS製 防火ダンパー付)	17w (1φ100v)	3	参考EX-20EMP9





[注記]

1. 図中記入なき配線は下記による。

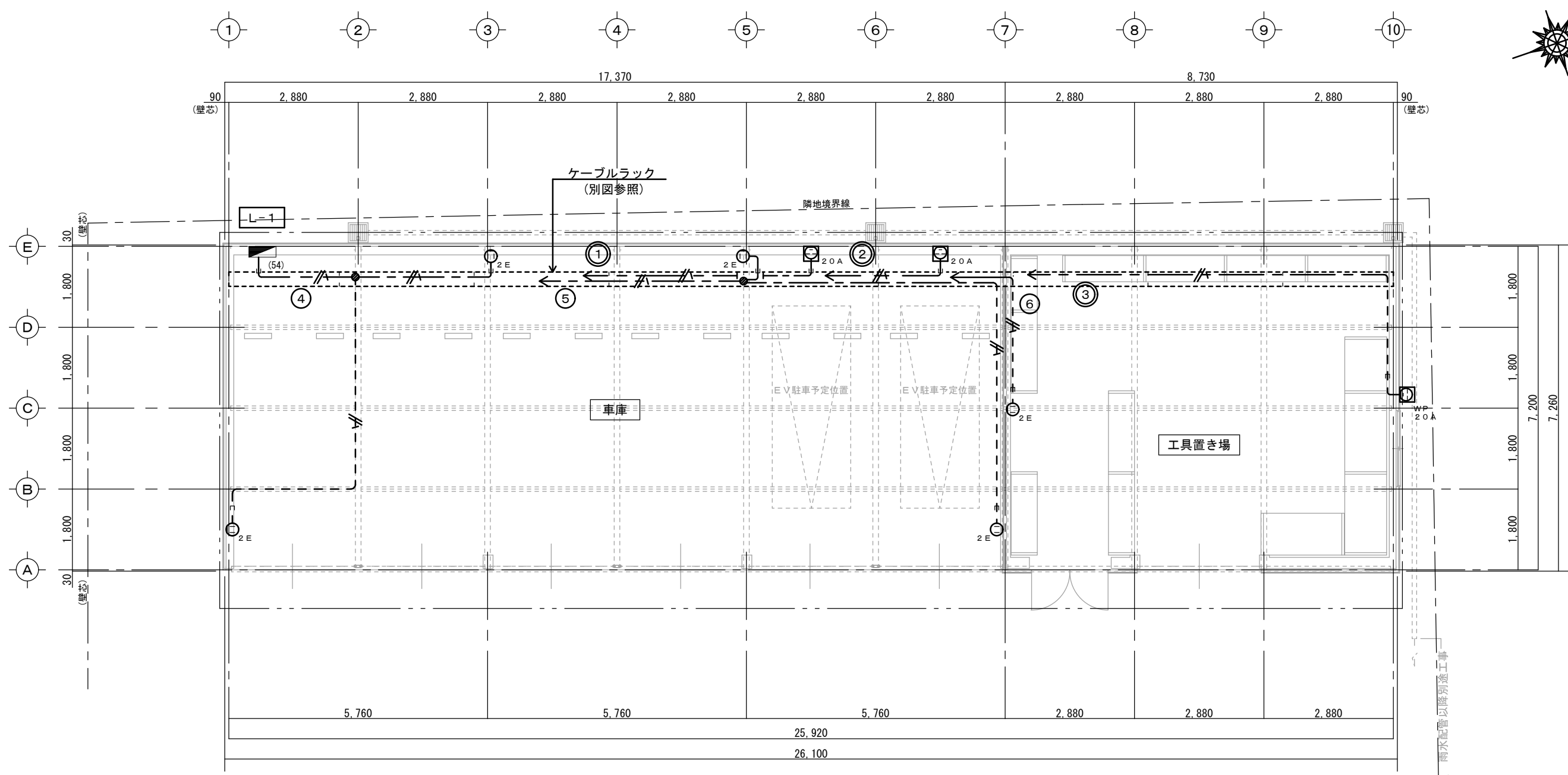
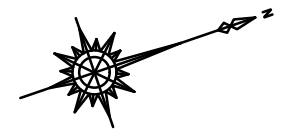
--- / ---	EM-EEF 1.6-3C	(1線アース)	保護管(HIVE 22)	— //A —	EM-EEF 1.6-2C+3C	(1線アース)
--- // ---	EM-EEF 1.6-3C		保護管(HIVE 22)	— //A _{2.0} —	EM-EEF 2.0-3C	(1線アース)
--- /// ---	EM-EEF 1.6-2C×2		保護管(HIVE 28)	---		鉄骨梁等露出配線を示す
--- //A ---	EM-EEF 1.6-2C×2	(1線アース)		---		ケーブルラック内配線を示す
--- ///A ---	EM-EEF 1.6-2C+3C	(1線アース)				
---	EM-EEF 1.6-2C		保護管(HIVE 16)			
---	EM-EEF 1.6-3C	(1線アース)				
---	EM-EEF 1.6-3C					

2. 鉄骨梁等露出配線及びケーブルラック配線において、壁露出立下げ部分は適合する電線管にて保護すること。

平面図

隣地境界線 雨水配管以降別途工事

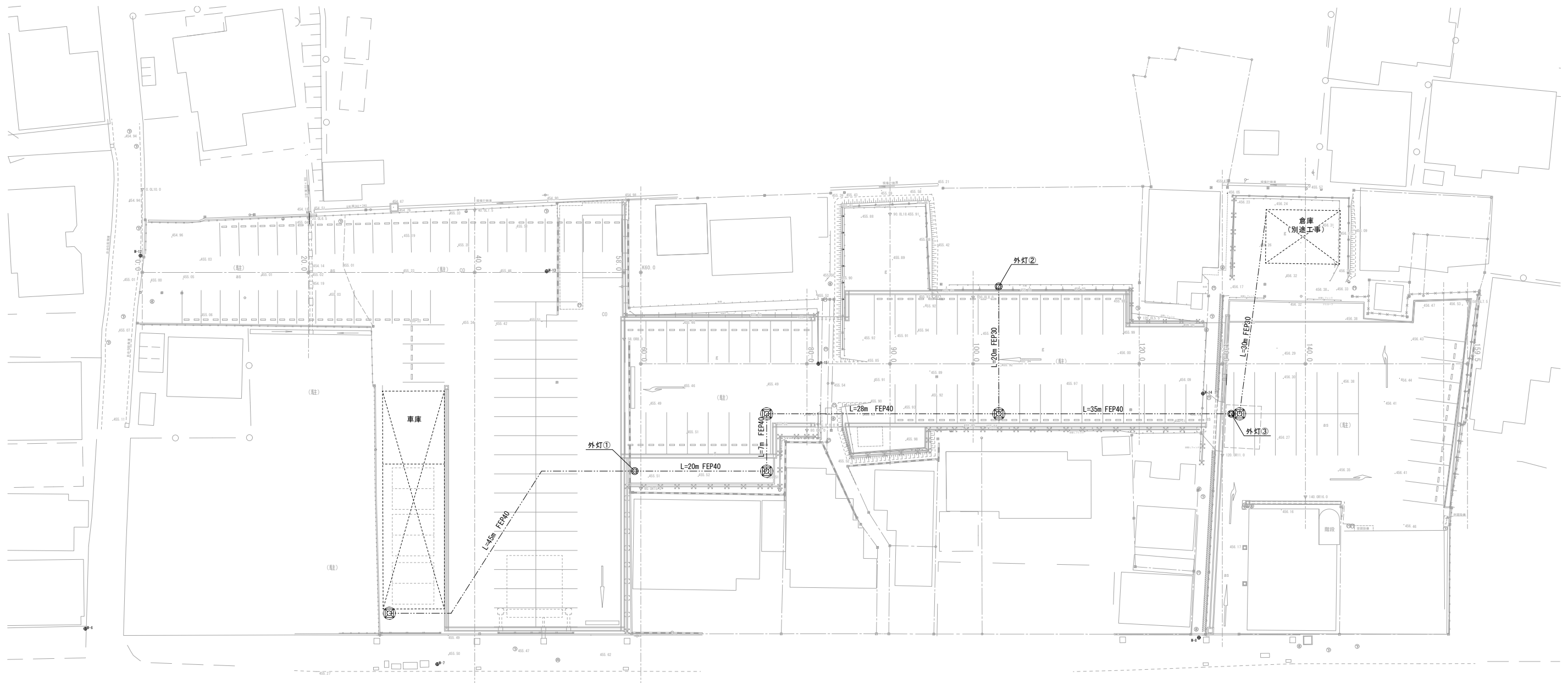




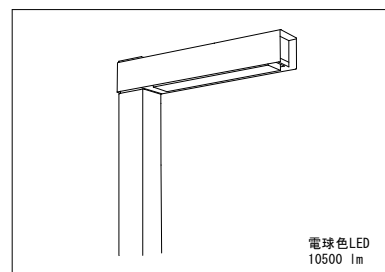
- [注記]
1. 図中記入なき配線は下記による。

 - - - // A - - - EM-EEF 2.0-3C (1線アース) 保護管(HIVE22)
 - // A — EM-EEF 2.0-3C (1線アース)
 - - - - - 鉄骨梁等露出配線を示す
 - - - - - ケーブルラック内配線を示す
 2. 鉄骨梁等露出配線及びケーブルラック配線において、壁露出立下げ部分は適合する電線管にて保護すること。

平面図



照明器具姿図



凡例

---	FEP30地中埋設 EM-CE5.5sq-2C EM-IE2.0sq
---	FEP40地中埋設 EM-CE5.5sq-2C×2 EM-IE2.0sq×2
⊙	照明器具 参考型番XYG1003RLE9
⊠	ハンドホール □600×600 中耐φ500

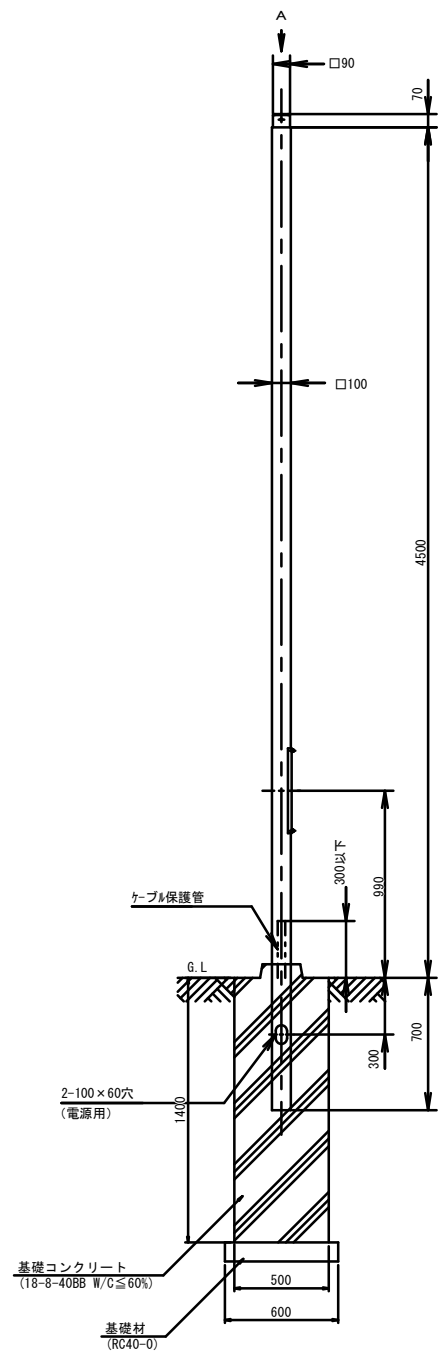
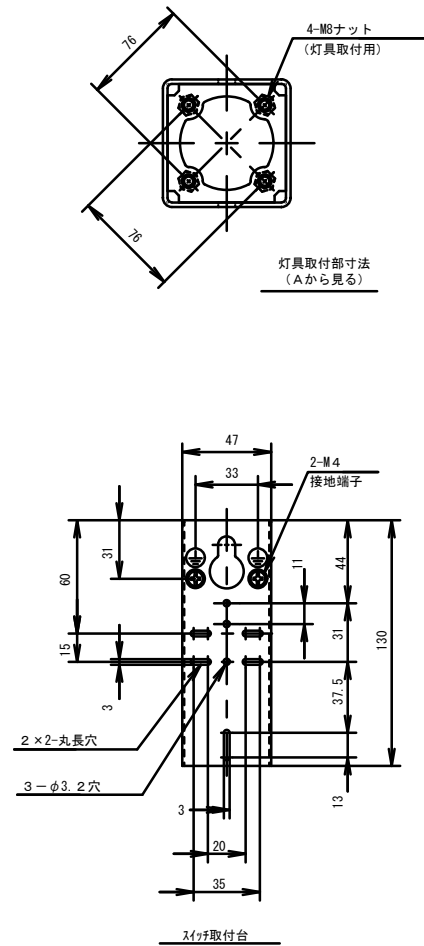
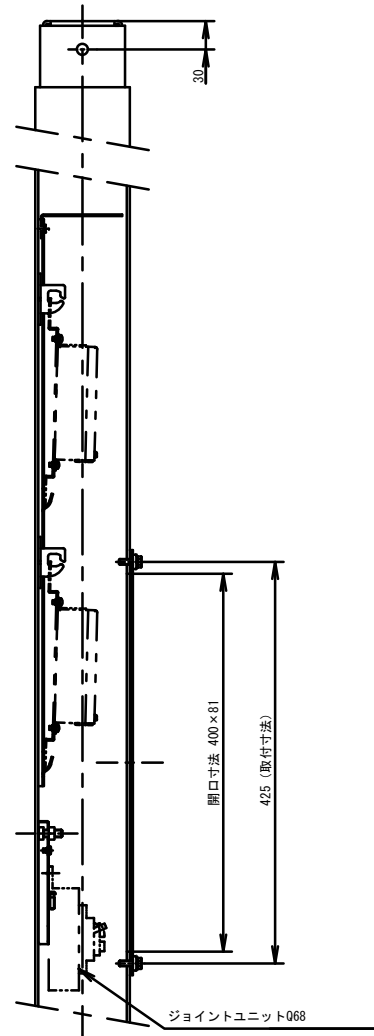
基準点成果表

測点	X	Y	H
M-6	44711.205	-22626.582	455.155
M-7	44693.432	-22587.883	455.373
M-8	44668.799	-22590.133	456.070
M-12	44751.495	-22605.726	454.959
M-13	44733.855	-22560.097	455.507
M-14	44694.324	-22490.152	456.101
M-15	44712.727	-22532.768	455.497

図案	地味線の種類
⊠	プラスチック杭
⊡	コンクリート杭
⊢	金属杭
⊣	金属プレート
⊤	ペイントマーカ
○	木杭
◇	削み
●	計算点

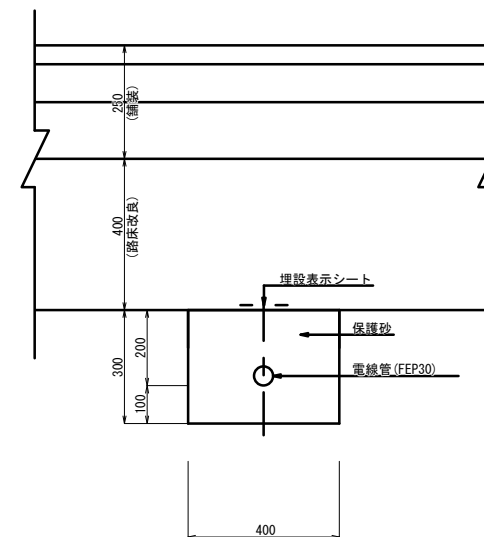


照明施設詳細図



基礎工 1箇所当り材料表		
名称	単位	数量
コンクリート	m ³	0.4
型枠	m ²	2.8
基礎材 (t=10cm)	m ²	0.3
掘削	m ³	3.1
埋戻し	m ³	2.7
基面整正	m ²	0.4

管路掘削断面図 S=1:10



ハンドホール S=1:10

